

市民アンケート調査の結果について

1 アンケート調査の概要

1-1 目的

現行の「朝霞市みどりの基本計画」の改定にあたり、本市のみどりに対する市民意識を把握するとともに、今後のみどりのまちづくりに対する意向を把握し、計画改定の方角性を検討するため、市民アンケート調査を実施しました。

1-2 配布回収方法

- ・ 市内に在住する13歳以上の市民3000人(住民基本台帳より地域人口を勘案して無作為抽出)
- ・ 配布 → 無作為抽出による市民に、依頼状、アンケート用紙、返信用封筒を郵送
- ・ 回収 → 返信用封筒(返信先は朝霞市役所みどり公園課)、及び、またはWEB回答
- ・ 調査期間 → 配布:令和6年9月27日郵送、
回収:令和6年10月15日投函締切・WEB入力締切

1-3 回収数

- ・ 郵送法 737人
- ・ WEB回答 208人
- ・ 合計 945人 …回答率31.5%

1-4 設問項目

属性	年齢、職業、居住歴、世帯構成、居住地
問1	朝霞市のみどりに対する満足度
問2	豊か・魅力的と感じるみどり
問3	将来に残していきたいと思うみどり
問4	市内の公園の利用頻度
問5	お住いの近くの公園について
問6	みどり豊かなまちづくりを推進するための重要な施策
問7	緑化活動・緑地保全活動への参加経験
問8	市内の公園緑地で行われるイベントやまつりへの参加経験
問9	自然環境が有する多様な機能の認知度
問10	みどりを守るための仮定の支払い意思
意見・要望	みどりのまちづくりについてのご意見・ご要望

2 アンケート結果の要約

アンケート結果を要約すると以下の通りです。

1) みどりの満足度について(9ページ)

- 「朝霞市のみどりの豊かさや魅力に満足している。」が最も高い評価を受けました(0.29)。
- 次いで、「お住いの近くのみどりの豊かさや魅力に満足している。」が高い評価を受けました(0.19)。
- 一方で、「公園などでレクリエーション活動が楽しめる。」が最も低い評価を受けました(-0.03)。
- また、「災害時に避難地や活動拠点として機能する公園がある。」も低い評価を受けました(0.02)。

○年代別(10～13ページ)

- 朝霞市のみどりの豊かさや魅力に最も満足しているのは40歳代(0.43)で、80歳代は最も低い評価(0.1)となっています。
- お住いの近くのみどりの豊かさや魅力に最も満足しているのは20歳代(0.33)で、80歳代は最も低い評価(-0.01)となっています。

○地域別(14～16ページ)

- 朝霞市のみどりの豊かさや魅力に最も満足しているのは南部地域(0.49)で、西部地域(0.03)が最も低い評価となっています。
- お住いの近くのみどりの豊かさや魅力に最も満足しているのは南部地域(0.41)で、西部地域(-0.1)が最も低い評価となっています。

○居住年数別(17～19ページ)

- 朝霞市のみどりの豊かさや魅力に最も満足しているのは5年以上10年未満(0.29)ですが、他の居住年数の評価との差は小さいです。
- お住いの近くのみどりの豊かさや魅力に最も満足しているのは5年以上10年未満(0.37)で、30年以上(0.12)が最も低い評価となっています。

○世帯構成別(20～22ページ)

- 朝霞市のみどりの豊かさや魅力に最も満足しているのは、18歳未満の子どもがいて一番上の子どもが小学生・中学生(0.29)ですが、他の世帯構成の評価との差は小さいです。
- お住いの近くのみどりの豊かさや魅力に最も満足しているのは、18歳未満の子どもがいて一番上の子どもが小学生・中学生(0.29)で、その他(0.12)が最も低い評価となっています。
- 全体を通して、南部地域が全ての項目で最も高い評価を得ており、北部地域と西部地域で低い評価が多く見られます。また、5年未満、5年以上10年未満の居住者が全ての項目で高い評価をしており、長い居住年数の20年以上30年未満、30年以上の居住者で低い評価が多く見られます。

2) 豊か・魅力的と感じるみどり(23ページ)

- 市民が最も豊かで魅力的と感じるみどりの場所として、黒目川が最も多くの票を集めました(331人)。次いで、青葉台公園(116人)、シンボルロード(115人)、朝霞の森(106人)などが上位に挙げられています。また、新河岸川や越戸川も10人以上が魅力的と回答しています。
- 公園では、青葉台公園(116人)、城山公園(70人)、朝霞中央公園(43人)が上位に挙げられ、滝の根公園(35人)などの大きい公園も多くの人に魅力的とされています。

3) 将来に残していきたいと思うみどり(24ページ)

- 最も多く記載されたのは朝霞の森(158人)であり、次いで黒目川(154人)が多く挙げられました。また、地区公園の城山公園(85人)、青葉台公園(55人)、朝霞中央公園(13人)や近隣公園の滝の根公園(27人)といった広い公園も多くの人が記入しています。さらに、国有地である朝霞の森(158人)、シンボルロード(42人)、米軍基地跡地(34人)についても多くの人が残しておきたいと思うみどりに挙げています。

4) 公園の利用頻度(25ページ)

- 市内公園の平均利用回数は30.9回/年となりました。

○地域別

- 南部地域が35.9回と平均利用回数が最も多く、一方内間木地域(13.5回)が最も少ない回数となりました。

○年代別

- 30歳代が51.1回と平均利用回数が最も多く、10歳代(8.5回)が最も少ない回数となりました。

○世帯構成別

- 18歳未満の子どもがいて一番上の子どもが小学校入学前である世帯の平均利用回数が73.8回と最も多く、単身者である世帯(19回)が最も少ない回数となっています。
- 全体を通してみると、18歳未満の子どもがいて一番上の子どもが小学校入学前である世帯が、73.8回と際立って多い利用回数となっています。

5) お住いの近くの公園について(26～29ページ)

○公園の評価

- ベンチなどの休憩施設が充実しているか:シンボルロードが最も高評価(0.75)、宮戸立出児童遊園地が最も低評価(-0.67)。
- 安全に遊べる遊具が充実しているか:あかね公園が最も高評価(0.5)、まぼりみなみ公園が最も低評価(-0.94)。
- 公園の植物がよい景観をつくっているか:シンボルロードが最も高評価(0.75)、まぼりみなみ公園が最も低評価(-0.89)。
- 夏の日よけになる木陰が十分あるか:シンボルロードが最も高評価(0.81)、まぼりみなみ公園が最も低評価(-0.89)。
- 樹木が成長しすぎて見通しが良くないか:星の森児童遊園地が最も見通しが良くない評価(-

0.38)。

- 雑草が生い茂っているため利用しにくい：宮戸立出児童遊園地が最も利用しにくい評価(-0.58)。
- 防犯上心配で利用しにくい：根岸児童遊園地が最も防犯上心配で利用しにくい評価(-0.40)。
- 近くの住民によく利用されているか：南の風公園が最も高評価(0.81)、近くに公園がないと回答した人が最も低評価。
- 特定の利用者が占有して利用しにくい：の森児童遊園地が最も利用しにくい評価(-0.38)。
- 全体的な評価では、シンボルロードが最も高評価(0.60)、根岸児童遊園地が最も低評価(-0.18)となっています10。

○地域別の評価

- ベンチなどの休憩施設が充実しているかでは、北部地域と西部地域ではマイナス評価となっています。
- 安全に遊べる遊具が充実していると評価されたのは、南部地域(0.16)ですが、その他の地域では全てマイナス評価となっています。
- 公園の植物がよい景観をつくっていると評価されたのは、南部地域(0.37)です。
- 夏の日よけになる木陰が十分あると評価されたのは、南部地域(0.36)です。
- 全体を通してみると、南部地域が高い評価を得ている一方で、内間木地域が低い評価を受けていることがわかります。

6) みどり豊かなまちづくりを推進するための重要な施策(31～32ページ)

- 最も多くの市民が支持した施策は、「道路においてみどり豊かで安全に歩ける歩道空間を整備する。」で、351件の回答がありました。
- 次いで、「だれもが気軽に利用できるように小規模でも身近な公園や緑地を充実させる。」が292件、「健康づくりや自然とのふれあいの場となる川沿いの遊歩道を充実させる。」が242件の回答を集めました。
- 年代別では、80歳以上、20歳代、70歳代、10歳代が「だれもが気軽に利用できるように小規模でも身近な公園や緑地を充実させる。」を支持する傾向が強く、世帯構成別では「18歳未満の子どもがいて一番上の子どもが小学校入学前」、「その他」、「18歳未満の子どもがいて一番上の子どもが中学を卒業している」、「単身者」が多く支持しています。また、地域別では、内間木地域が34.4%と最も多くの回答を集めました。
- 子育て世代では、レクリエーション空間を望む傾向があり、世代が上がるにつれ安全な歩行環境や自然とのふれあいを望む傾向にあります。

7) 緑化活動・緑地保全活動における参加経験、今後参加したい活動について(33～35ページ)

○参加経験

- 最も多くの市民が参加した経験がある活動は、「生け垣や花壇など自宅の庭の緑化」(22.9%)で、次いで「道路などの清掃活動」(21.2%)となっています。
- 高齢者は「道路などの清掃活動」や「生け垣や花壇など自宅の庭の緑化」への参加経験が高く、若い世代では低くなる傾向があります。
- 子育て世代では、「プレーパークなど子どもに自然との遊び方を教える」や「身近な生き物観察やみどりの調査」への参加経験が多い傾向にあります。
- 80歳以上や70歳代では、「全てに参加したことがない」が他の世代と比べて高くなっています。

○今後参加したい活動

- 最も多くの市民が今後参加したいと考えている活動は、「市民農園や近所の空き地を借りた野菜や草花の生産」(9.3%)で、次いで「緑化のための募金活動」(6.9%)、「公園愛護会など公園の花植えや清掃活動への参加」(6.2%)、「地域の団体で木や花を育てる」(6.2%)となっています。
- 「里山の保全活動」、「地域の団体で木や花を育てる」、「緑化に関する講習会に参加する」、「公園の計画づくりや管理運営を考えるワークショップへの参加」は、今後取り組みたい活動とする回答が参加経験のある活動とする回答を大きく超える結果となりました。

○参加しない理由

- 市民が緑化活動や緑地保全活動に参加しない理由として最も多いのは、「参加する時間がない」(20.5%)という回答でした。

8) 市内の公園緑地で行われるイベントやまつりへの参加経験について(36～38ページ)

- 最も多くの市民が参加したイベントは「彩夏祭」で、64.8%の市民が参加経験があります。次いで「黒目川花まつり」(46.3%)、「身近な公園で開催される納涼祭やイベント」(27.3%)、「あさか冬のあかりテラス」(25.6%)、「ASAKA STREET TERRACE」(23.3%)となっています。
- また、子育て世代では、「朝霞の森プレーパーク」や「じゃがいも堀り等の農業収穫体験」、「移動式プレーパーク」などの体験型イベントへの参加が全体に比べて多い傾向にあります。

9) 自然環境が有する多様な機能の認知度について(39ページ)

- 最も多くの市民が認知している機能は、「CO2の吸収源となり地球温暖化を緩和する機能」(59.5%)で、次いで「日射の緩和、蒸散作用により都市の気温の上昇を緩和する機能」(47.8%)、「生き物の生息空間となり身近な生き物や地域固有の生き物を守る機能」(42.0%)、「水害の軽減など自然災害による被害を軽減する機能」(40.8%)の順となっています。
- 年代別では、30歳代の認知度が最も高く、60歳代、40歳代、20歳代と続きます。

10) みどりを守るための仮定の支払い意思について(40ページ)

- 市民が最も高く支払う意思を示したのは、「CO2の吸収源となり地球温暖化を緩和するみどり」で、支払い額は¥158.-でした。次いで、「水害の軽減など自然災害による被害を軽減するみどり」(¥135.-)、「日射の緩和等により都市の気温上昇を緩和するみどり」(¥125.-)、「子どもの遊び場や散策の場となるみどり」(¥121.-)の順となっています。
- 世帯構成別における子育て世代や地域別における内間木地域では、「子どもの遊び場や散策の場となるみどり」への支払額が最も高くなっています。

11) ご意見ご要望について(41～45ページ)

- 緑化管理については、公園や遊歩道、河川敷の景観や草刈りの管理、通学路の樹木や雑草の管理に関する意見が述べられています。具体的な場所として、朝霞三中の前の河川敷や黒目川の土手などが挙げられています。
- 朝霞市の良い所として、大きな公園や木々の並んだ通りが評価されており、現状の管理状況に満足しているという意見が多いです。黒目川と青葉台などの自然豊かな景色も残してほしいとのことです。
- 自然の保護に関しては、大規模な緑地の保全やマンション開発におけるみどりの量を増やす基準の提案が含まれています。
- 学校教育と緑化については、小中学校の緑化や学校教育での緑の大切さを学ぶ時間の増加が提案されています。
- 公園の整備に関しては、公園の木陰の増加や遊具の増設、水遊びができる公園の増加などの意見が述べられています。
- イベントについては、黒目川沿いのウォーキングイベントや川まつりの充実、ベンチの設置などの提案が含まれています。
- 市民参加に関しては、市民を巻き込んだ施策や個々人が育てられるグリーンの推奨などが提案されています。

3 集計結果

3-1 回答者の属性

- 回答者の年代は、50代(18.2%)が最も多く、次いで60代(17.9%)、40代(15.6%)となっています。
- 職業は、会社員・団体職員(30.3%)が最も多く、次いで無職(17.8%)、専業主婦・主夫(14.5%)となっています。
- 市内での居住年数は、30年以上(36.6%)が最も多く、次いで20年以上30年未満(20.0%)となっています。
- 世帯構成は、その他(24.7%)が最も多く、次いで単身者(22.6%)、配偶者がいて子どもがいない(21.3%)となっています。また、18歳未満の子どもがいる世帯は30.6%であり、そのうち一番上の子が小学校入学前の世帯は7.2%、一番上の子が小学生・中学生である世帯は11.0%となっています。

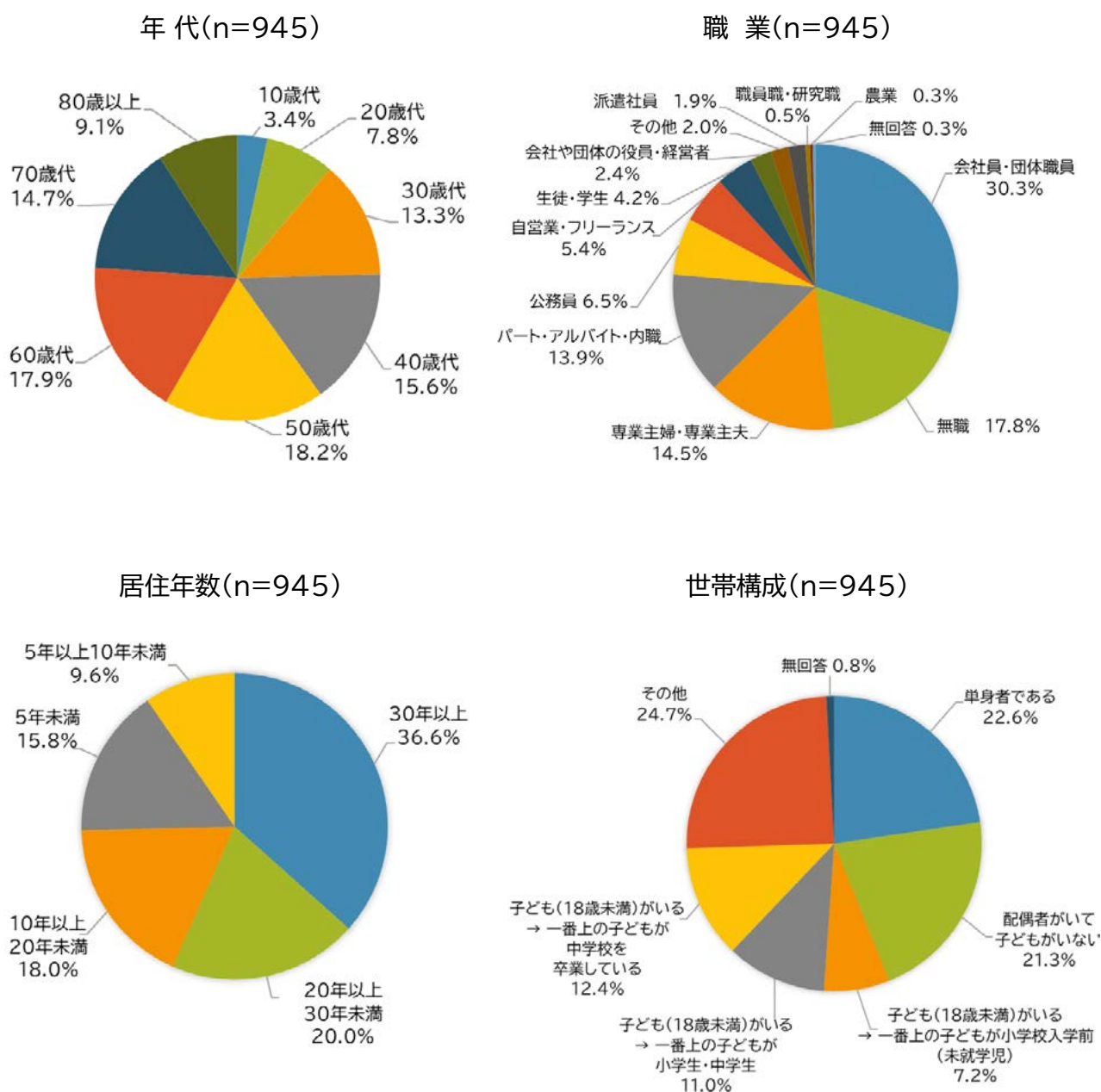


図1 回答者の属性

- 回答者の居住地を地域別にみると、南部地域(38.2%)が最も多く、次いで東部地域(20.8%)、北部地域(19.8%)となっています。
- 町丁目別の回答者数は、本町1丁目(47人)が最も多く、次いで本町2丁目(40人)、根岸台7丁目(32人)、三原1丁目(26人)となっています。

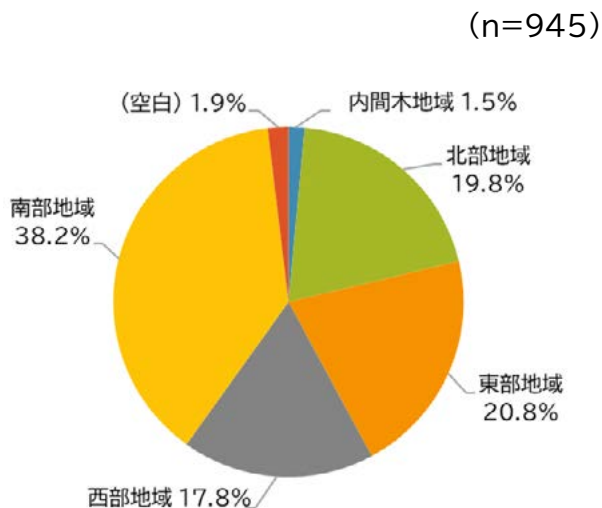


図 3 居住地《地域別》

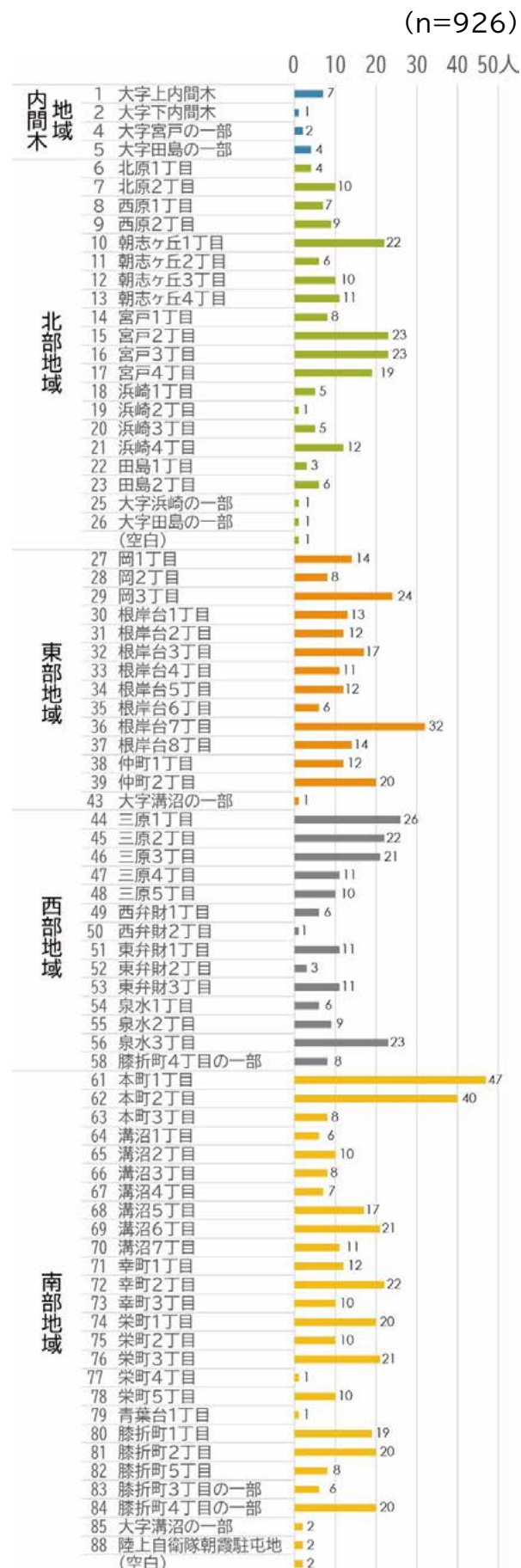


図 2 居住地《町丁目別》

3-2 朝霞市のみどりに対する満足度

問1	朝霞市の「みどり」に対するあなたの満足度についてお答えください。以下の項目について、“そう思う”から“そう思わない”まで5段階で評価して、番号に○をつけてください。
----	--

3-2-1 単純集計

- 朝霞市のみどりに対する満足度の評価の平均をみると、「a. 朝霞市のみどりの豊かさや魅力に満足している。」が一番高く(0.29)、次いで「b. お住いの近くのみどりの豊かさや魅力に満足している。」が2番目に高い値(0.19)となりました。
- 一方、「e. 公園などでレクリエーション活動が楽しめる。」が、-0.03でマイナスの値となり、最も低い値となっています。また「g. 災害時に避難地や活動拠点として機能する公園がある。」も0.02で、2番目に低い値となりました。

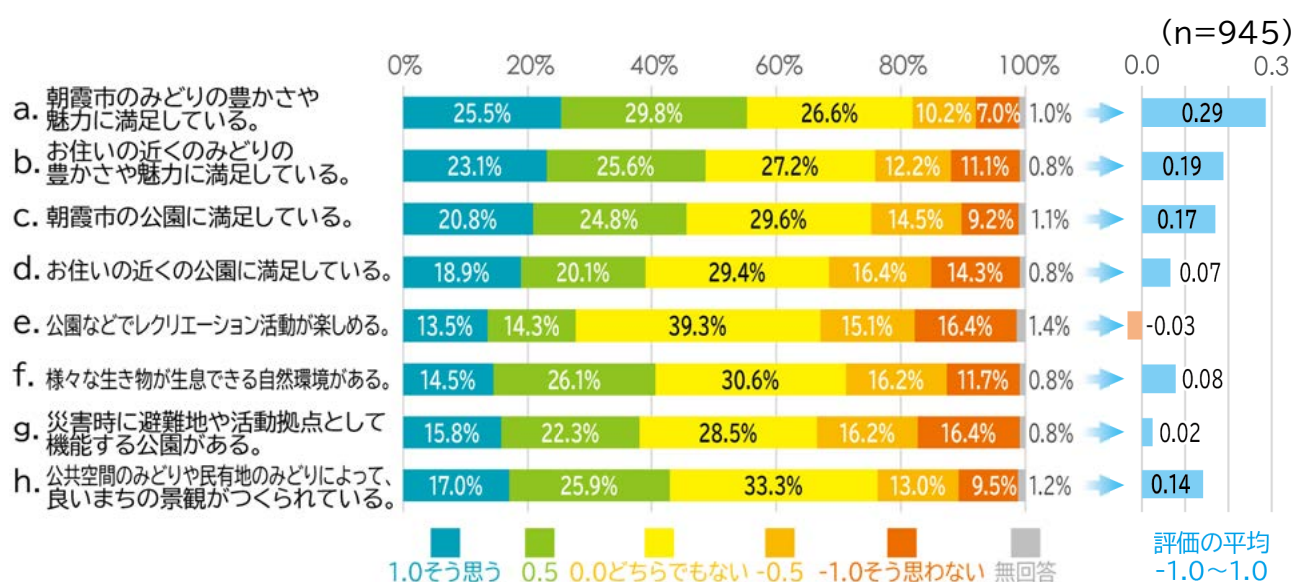


図4 朝霞市のみどりに対する満足度

3-2-2 回答者の属性によるクロス集計

1) 年代別

- 「a. 朝霞市のみどりの豊かさや魅力に満足している。」で最も評価が高いのは、40歳代(0.43)です。一方、80歳代は、0.1と低い評価となっています。
- 「b. お住いの近くのみどりの豊かさや魅力に満足している。」において最も評価が高いのは、20歳代(0.33)です。一方、80歳代の評価が-0.01と低い値となっています。
- 「a.の朝霞市のみどり」と「b.のお住いの近くのみどり」の評価を比較すると、全ての年代で、「a.の朝霞市のみどり」の方が高い評価となり、「b.のお住いの近くのみどり」が低くなっています。
- 「c. 朝霞市の公園に満足している。」で最も評価が高いのは20歳代(0.33)であるが、ついで70歳代(0.3)が高い評価となっています。一方、80歳代(0.06)が最も評価が低く、ついで60歳代(0.09)、50歳代(0.11)と同じように低い評価となっています。
- 「d. お住いの近くの公園に満足している。」で最も評価が高いのは、20歳代(0.22)です。一方、30歳代から50歳代の子育て世代や80歳代の値が低く、50歳代ではマイナスの評価(-0.02)となっています。
- 「c.朝霞市の公園」と「d.お住いの近くの公園」の評価を比較すると、全ての年代で、「c.朝霞市の公園」の方が高い評価となり、「d.お住いの近くの公園」が低くなっています。
- 「e. 公園などでレクリエーション活動が楽しめる。」で最も評価が高いのは、10歳代(0.13)であり、他の年代の値との差が大きい。一方、60歳代から80歳代まではマイナスの評価となっており、80歳代(-0.17)が、最も低い評価となっています。
- 「f. 様々な生き物が生息できる自然環境がある。」で最も評価が高いのは、40歳代(0.23)であり、次いで20歳代、30歳代が高い評価となっています。一方で60歳代と80歳代がマイナス評価となっており、80歳代(-0.15)が最も低い評価となっています。
- 「g. 災害時に避難地や活動拠点として機能する公園がある。」で最も評価が高いのは、20歳代(0.24)であり、次いで40歳代が高い評価となっています。一方、50歳代、60歳代、80歳代でマイナスの評価となっています。
- 「h.公共空間のみどりや民有地のみどりによって、良いまちの景観がつけられている。」で最も評価が高いのは、20歳代(0.38)ですが、10歳代から40歳代までは相対的に高い評価となっています。一方、80歳代(-0.01)は、マイナスの評価であり、最も低い評価となっています。

a. 朝霞市のみどりの豊かさや魅力に満足している。

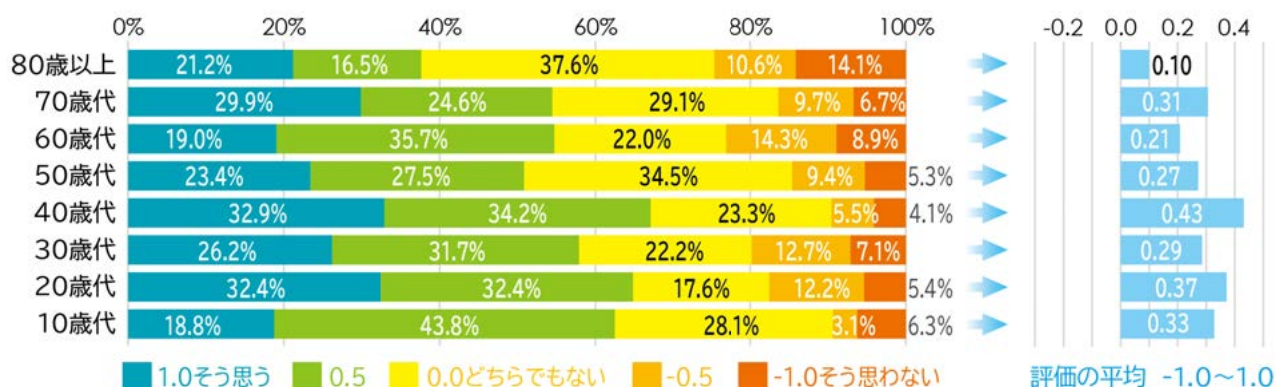


図 5 「朝霞市のみどりの豊かさや魅力に満足している。」《年代別》

b. お住いの近くのみどりの豊かさや魅力に満足している。

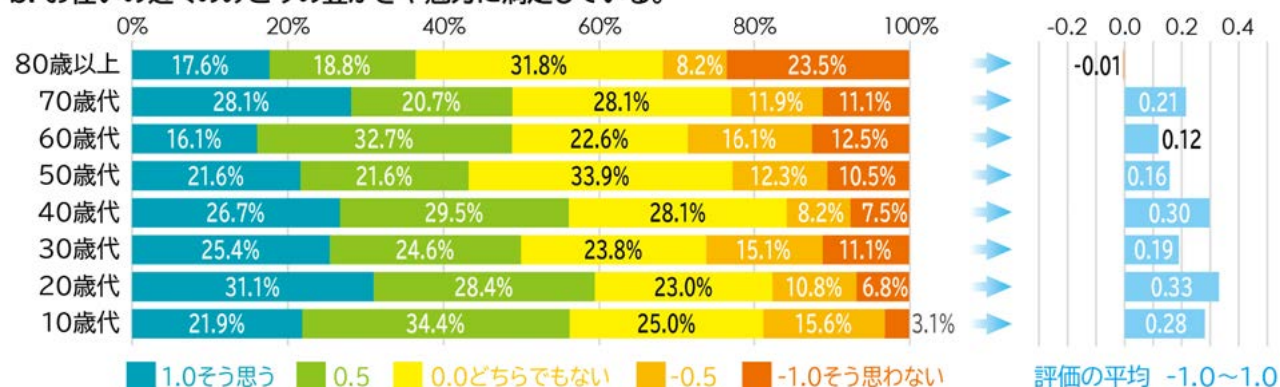


図 6 「お住いの近くのみどりの豊かさや魅力に満足している。」《年代別》

c. 朝霞市の公園に満足している。

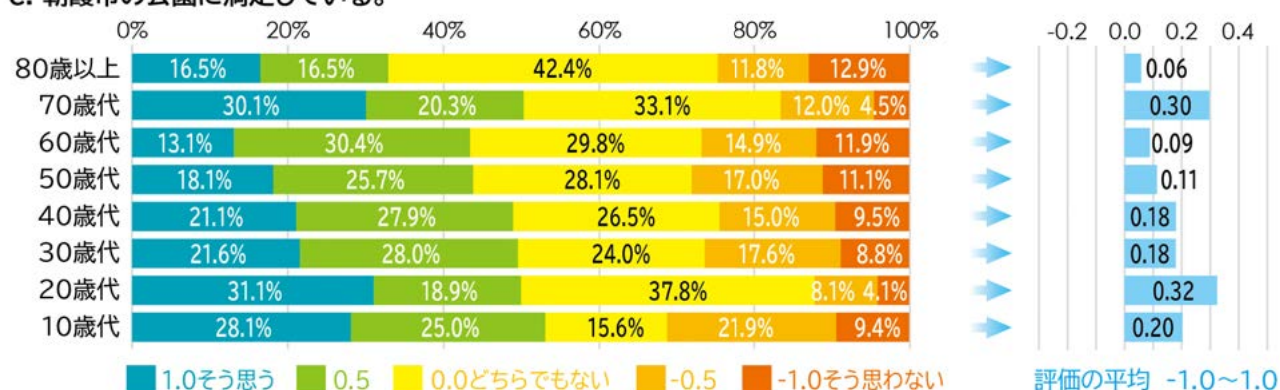


図 7 「朝霞市の公園に満足している。」《年代別》

d. お住いの近くの公園に満足している。

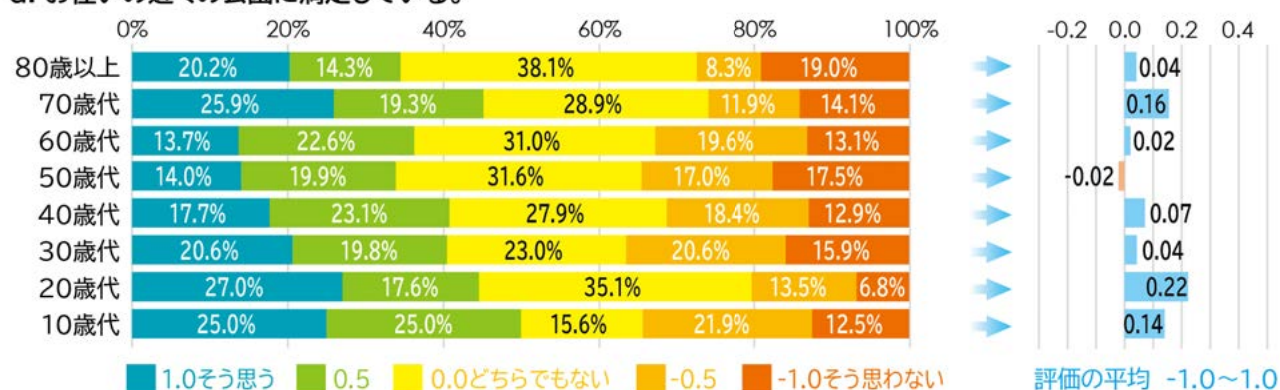


図 8 「お住いの近くの公園に満足している。」《年代別》

e. 公園などでレクリエーション活動が楽しめる。

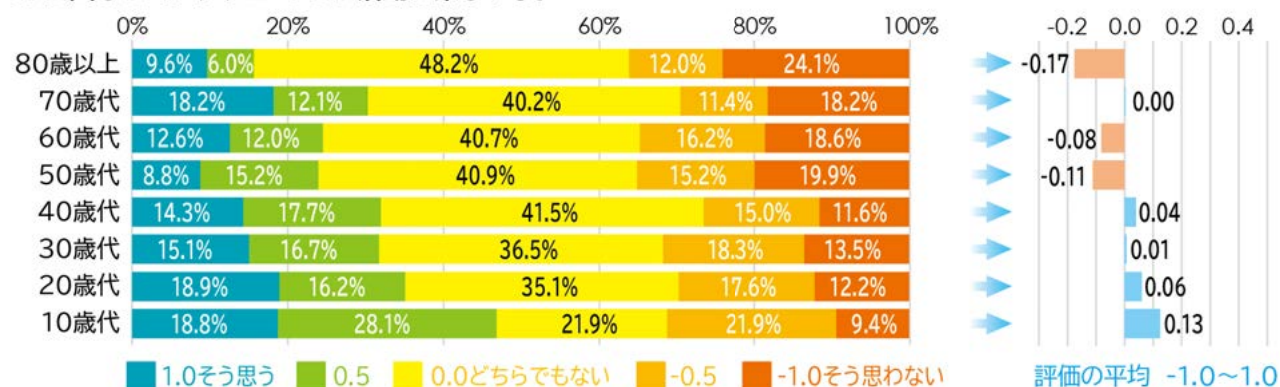


図 9 「公園などでレクリエーション活動が楽しめる。」《年代別》

f. 様々な生き物が生息できる自然環境がある。

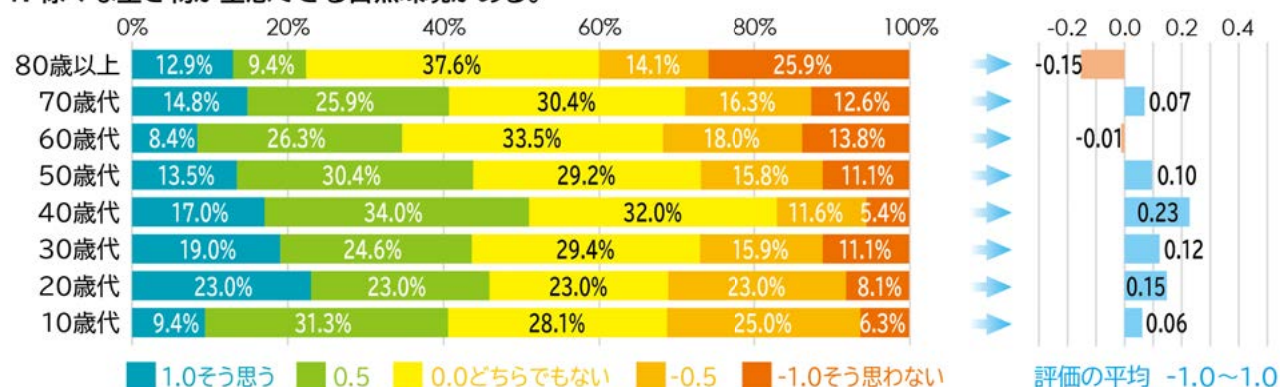


図 10 「様々な生き物が生息できる自然環境がある。」《年代別》

g. 災害時に避難地や活動拠点として機能する公園がある。

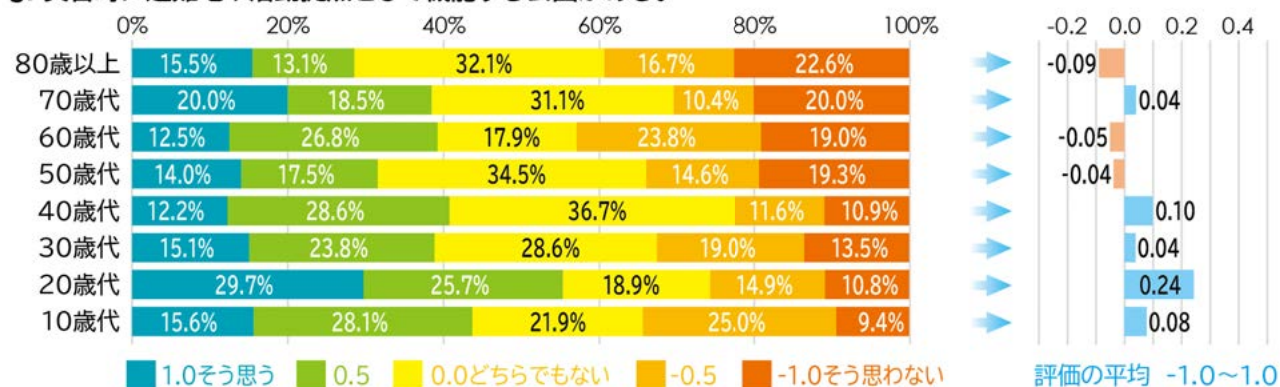


図 11 「災害時に避難地や活動拠点として機能する公園がある。」《年代別》

h.公共空間のみどりや民有地のみどりによって、良いまちの景観がつくられている。

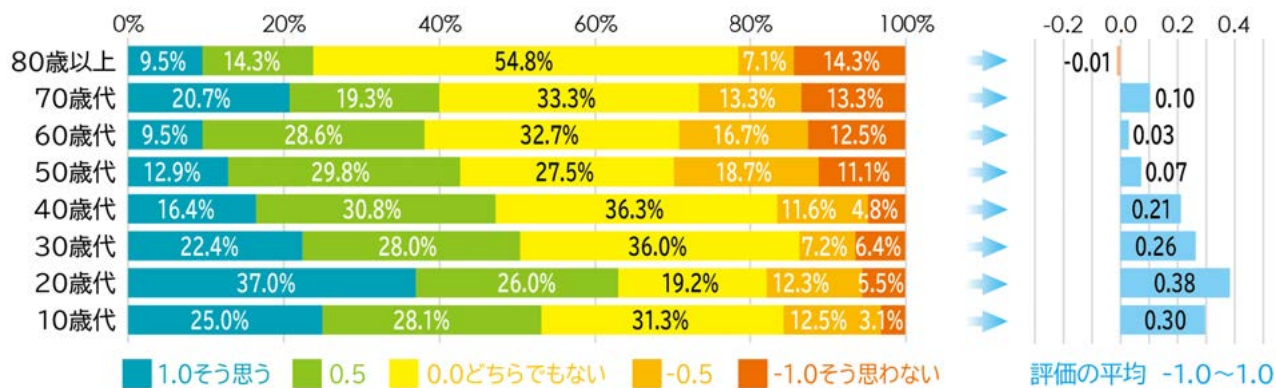


図 12 「公共空間のみどりや民有地のみどりによって、良いまちの景観がつくられている。」《年代別》

2) 地域別

- 「a. 朝霞市のみどりの豊かさや魅力に満足している。」で最も評価が高いのは、南部地域(0.49)であり、次いで、東部地域、内間木地域と高い評価になっています。一方、北部地域と西部地域は、低い評価となっており、西部地域(0.03)が最も低い評価となっています。
- 「b. お住いの近くのみどりの豊かさや魅力に満足している。」において最も評価が高いのは、南部地域(0.41)であり、次いで東部地域、内間木地域と高い評価になっています。一方、北部地域と西部地域は、マイナス評価となっており、西部地域(-0.1)が最も低い評価となっています。
- 「a.の朝霞市のみどり」と「b.のお住いの近くのみどり」の評価を比較すると、内間木地区のみ「b.のお住いの近くのみどり」の方が高い評価であり、その他の地域では、「a.の朝霞市のみどり」の方が高い評価となっています。
- 「c. 朝霞市の公園に満足している。」で最も評価が高いのは、南部地域(0.39)であり、他の地域との評価の差が大きい結果となりました。一方、北部地域と西部地域は、マイナス評価となっており、西部地域(-0.03)が最も低い評価となっています。
- 「d. お住いの近くの公園に満足している。」で最も評価が高いのは、南部地域(0.29)であり、他の地域との評価の差が大きい結果となりました。一方、北部地域と東部地域、西部地域は、マイナス評価となっており、北部地域(-0.12)が最も低い評価となっています。
- 「c.朝霞市の公園」と「d.お住いの近くの公園」の評価を比較すると、全ての年代で、「c.朝霞市の公園」の方が高い評価となっています。
- 「e. 公園などでレクリエーション活動が楽しめる。」で最も評価が高いのは、南部地域(0.18)であり、唯一プラスの評価となっています。一方、その他の地域は、マイナス評価となっており、北部地域(-0.26)が最も低い評価となっています。
- 「f. 様々な生き物が生息できる自然環境がある。」で最も評価が高いのは、東部地域(0.18)と南部地域(0.18)であり、次いで内間木地区が高い評価となっています。一方で北部地域と西部地域がマイナス評価となっており、西部地域が(-0.12)が最も低い評価となっています。
- 「g. 災害時に避難地や活動拠点として機能する公園がある。」で最も評価が高いのは、南部地域(0.22)であり、他の地域との差が大きい結果となりました。一方、北部地域と西部地域は、マイナス評価となっており、北部地域(-0.18)が最も低い評価となっています。
- 「h.公共空間のみどりや民有地のみどりによって、良いまちの景観がつくられている。」で最も評価が高いのは、南部地域(0.34)であり、次いで東部地域(0.16)が高い値となっています。一方、北部地域と西部地域は、マイナス評価となっており、西部地域(-0.1)が最も低い評価となっています。
- 全体を通してみると、南部地域が全ての項目で最も高い値となっています。また、北部地域と西部地域で低い評価となっている項目が多い結果となりました。

a. 朝霞市のみどりの豊かさや魅力に満足している。

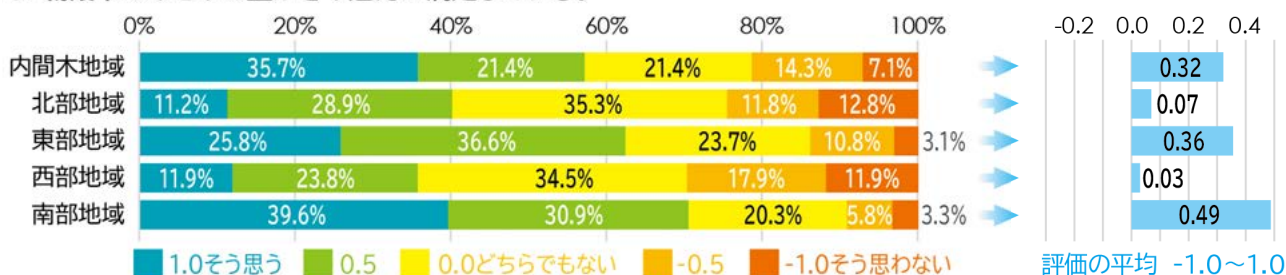


図 13 「朝霞市のみどりの豊かさや魅力に満足している。」《地域別》

b. お住いの近くのみどりの豊かさや魅力に満足している。

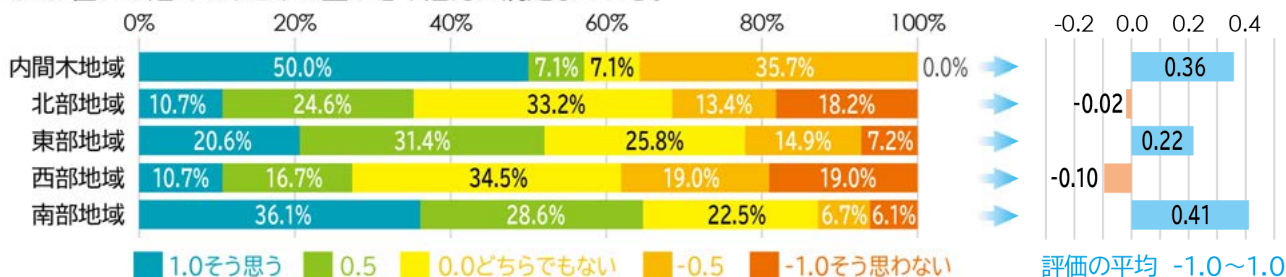


図 14 「お住いの近くのみどりの豊かさや魅力に満足している。」《地域別》

c. 朝霞市の公園に満足している。

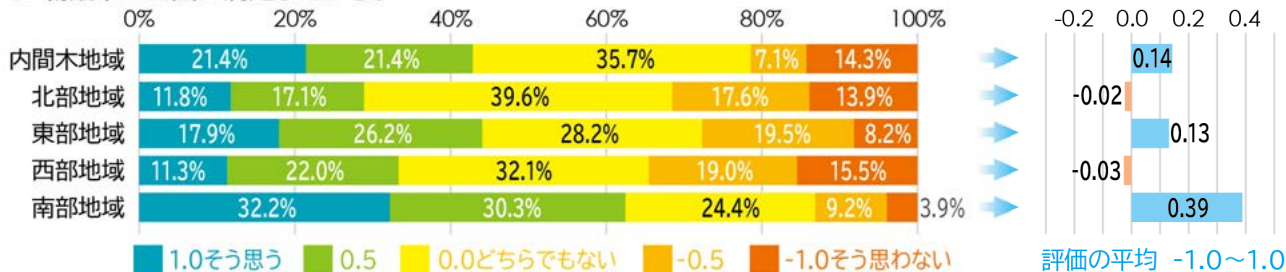


図 15 「朝霞市の公園に満足している。」《地域別》

d. お住いの近くの公園に満足している。

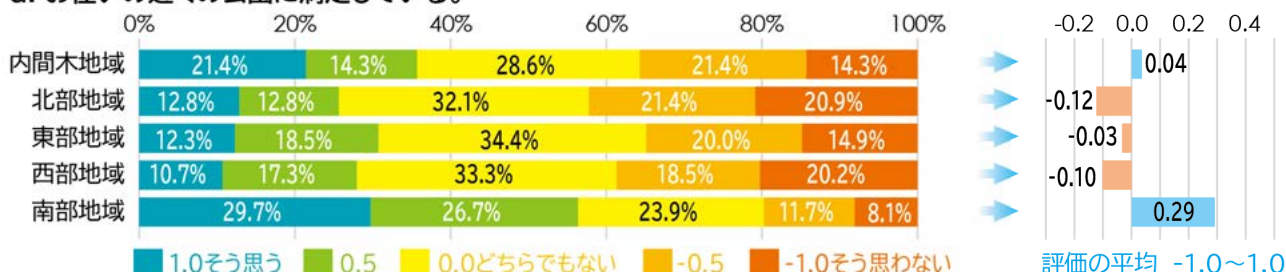


図 16 「お住いの近くの公園に満足している。」《地域別》

e. 公園などでレクリエーション活動が楽しめる。

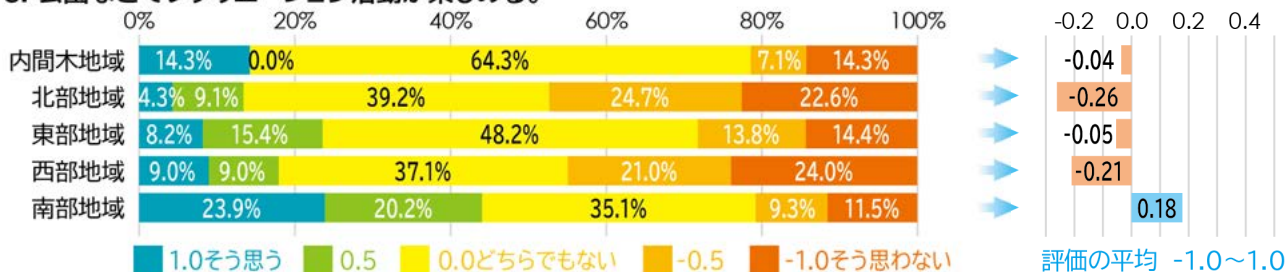


図 17 「公園などでレクリエーション活動が楽しめる。」《地域別》

f. 様々な生き物が息できる自然環境がある。

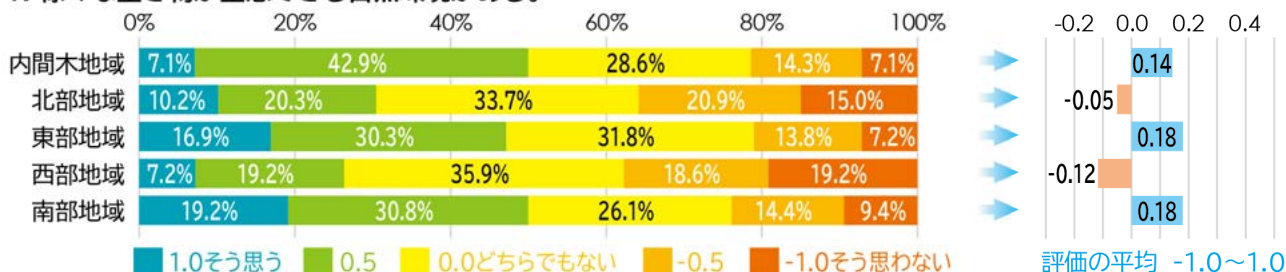


図 18 「様々な生き物が生息できる自然環境がある。」《地域別》

g. 災害時に避難地や活動拠点として機能する公園がある。

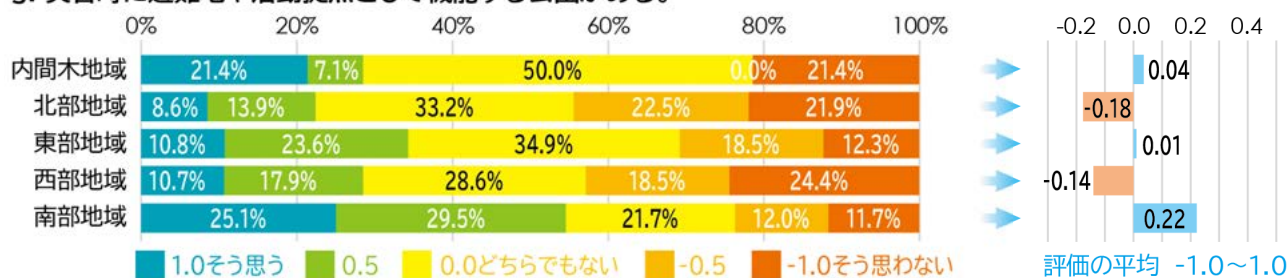


図 19 「災害時に避難地や活動拠点として機能する公園がある。」《地域別》

h. 公共空間のみどりや民有地のみどりによって、良いまちの景観がつくられている。

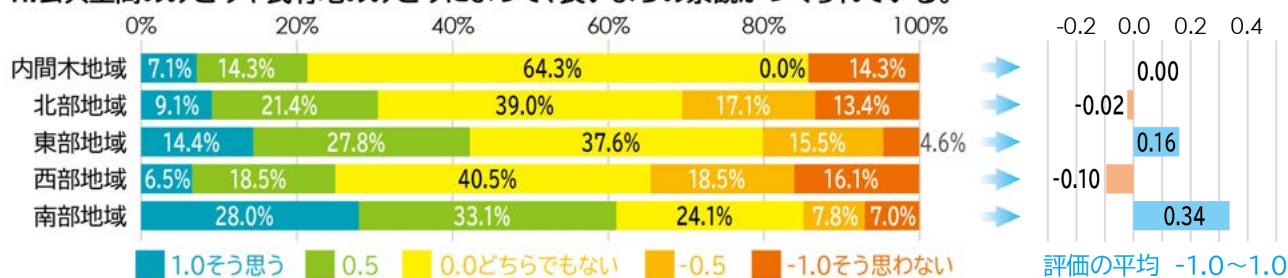


図 20 「公共空間のみどりや民有地のみどりによって、良いまちの景観がつくられている。」《地域別》

3) 居住年数別

- 「a. 朝霞市のみどりの豊かさや魅力に満足している。」で最も評価が高いのは、5年以上10年未満(0.29)ですが、他の居住年数の評価との差は小さいものとなりました。
- 「b. お住いの近くのみどりの豊かさや魅力に満足している。」で最も評価が高いのは、5年以上10年未満(0.37)です。一方、30年以上(0.12)が最も低い評価となっています。
- 「a.の朝霞市のみどり」と「b.のお住いの近くのみどり」の評価を比較すると、全ての居住年数で、「a.の朝霞市のみどり」の方が高い評価となっています。
- 「c. 朝霞市の公園に満足している。」で最も評価が高いのは、5年未満(0.26)であり、次いで5年以上10年未満が高い評価となっています。一方、20年以上30年未満(0.11)が最も低い評価となっています。
- 「d. お住いの近くの公園に満足している。」で最も評価が高いのは、5年未満(0.15)であり、次いで5年以上10年未満が高い評価となっています。一方、30年以上(0.02)が最も低い評価となっています。
- 「c.朝霞市の公園」と「d.お住いの近くの公園」の評価を比較すると、全ての居住年数で、「c.朝霞市の公園」の方が高い評価となっています。
- 「e. 公園などでレクリエーション活動が楽しめる。」で最も評価が高いのは、5年未満(0.07)であり、次いで5年以上10年未満が高い評価となっています。一方、その他の地域は、マイナス評価となっており、20年以上30年未満(-0.1)が最も低い評価となっています。
- 「f. 様々な生き物が生息できる自然環境がある。」で最も評価が高いのは、5年以上10年未満(0.2)であり、次いで5年未満、10年以上20年未満が高い評価となっています。一方、20年以上20年未満、30年以上では、低い評価となっており、30年以上(0.0)が最も低い評価となっています。
- 「g. 災害時に避難地や活動拠点として機能する公園がある。」で最も評価が高いのは、5年以上10年未満(0.13)であり、次いで5年未満、10年以上20年未満が高い評価となっています。一方、20年以上20年未満、30年以上では、低い評価となっており、30年以上(-0.05)がマイナスの値で最も低い評価となっています。
- 「h.公共空間のみどりや民有地のみどりによって、良いまちの景観がつくられている。」で最も評価が高いのは、5年以上10年未満(0.27)であり、次いで5年未満、10年以上20年未満が高い評価となっています。一方、20年以上20年未満、30年以上では、低い評価となっており、30年以上(0.05)がマイナスの値で最も低い評価となっています。
- 全体を通してみると、5年未満、5年以上10年未満が全ての項目で高い値となっており、長い居住年数の20年以上30年未満、30年以上で低い評価となっています。

a. 朝霞市のみどりの豊かさや魅力に満足している。

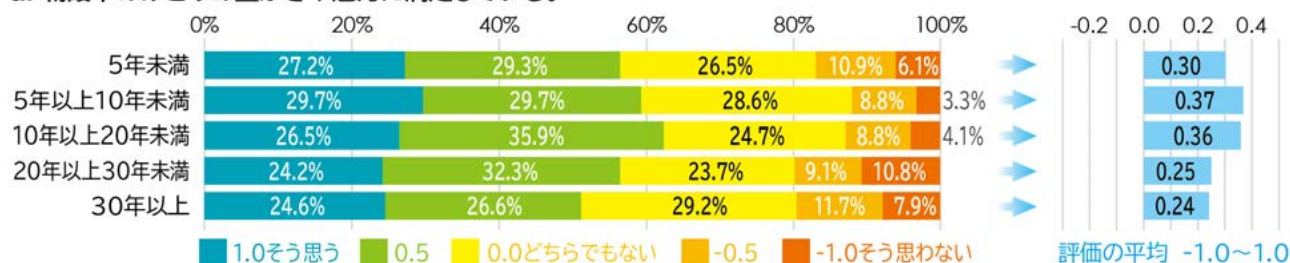


図 21 「朝霞市のみどりの豊かさや魅力に満足している。《居住年数別》

b. お住いの近くのみどりの豊かさや魅力に満足している。

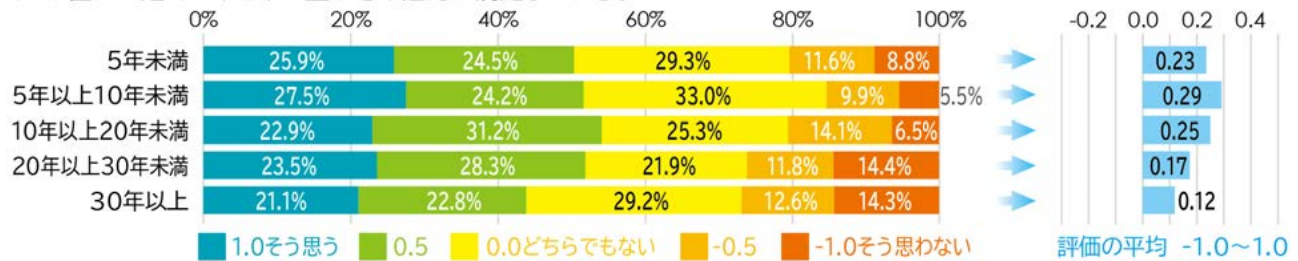


図 22 「お住いの近くのみどりの豊かさや魅力に満足している。」《居住年数別》

c. 朝霞市の公園に満足している。

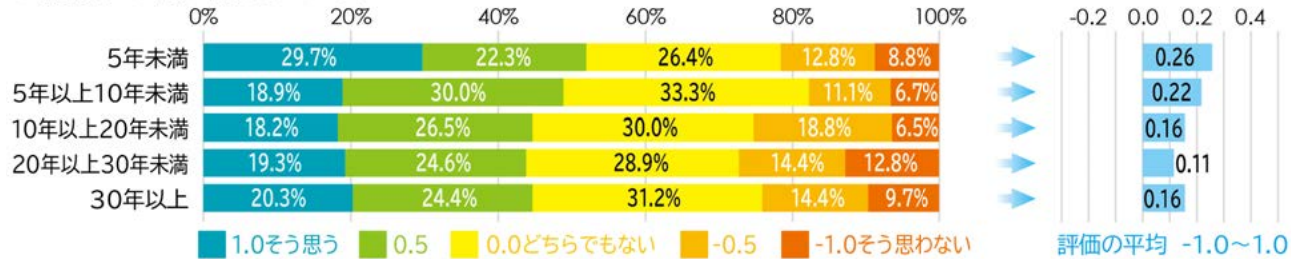


図 23 「朝霞市の公園に満足している。」《居住年数別》

d. お住いの近くの公園に満足している。

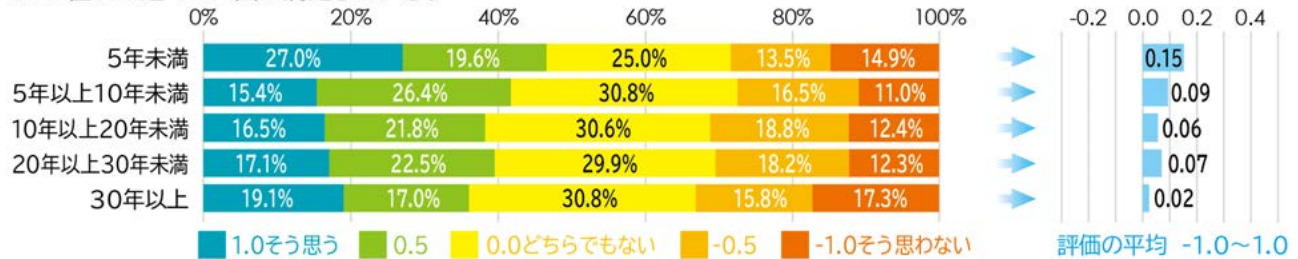


図 24 「お住いの近くの公園に満足している。」《居住年数別》

e. 公園などでレクリエーション活動が楽しめる。

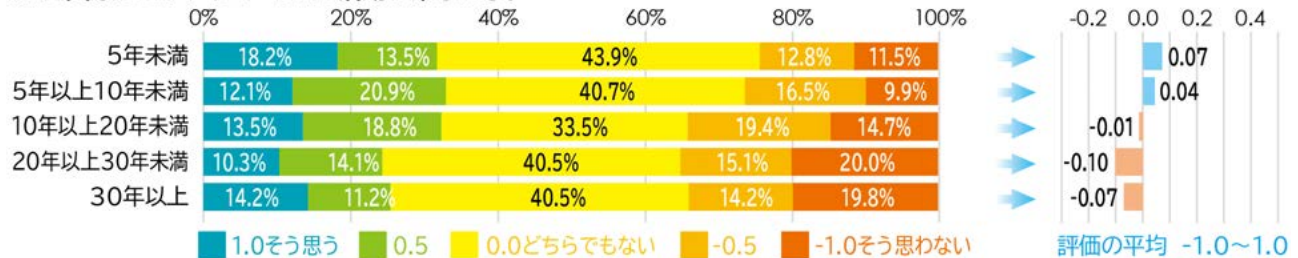


図 25 「公園などでレクリエーション活動が楽しめる。」《居住年数別》

f. 様々な生き物が生息できる自然環境がある。

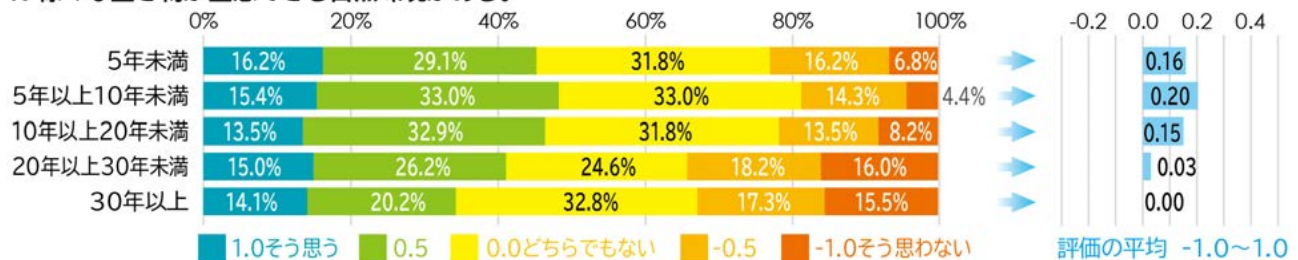


図 26 「様々な生き物が生息できる自然環境がある。」《居住年数別》

g. 災害時に避難地や活動拠点として機能する公園がある。

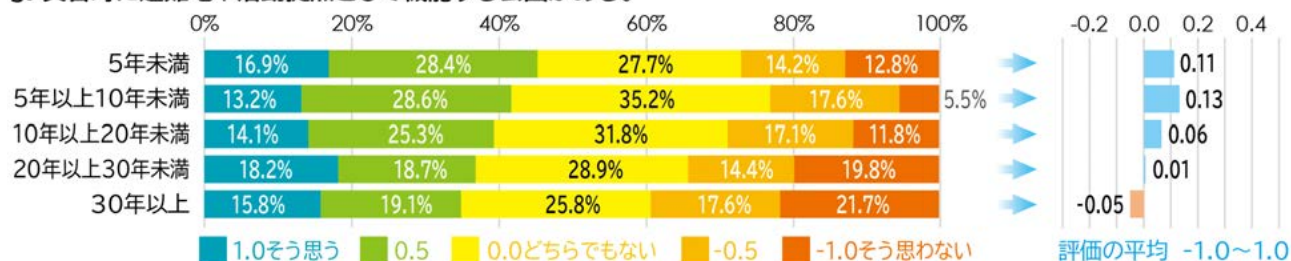


図 27 「災害時に避難地や活動拠点として機能する公園がある。」《居住年数別》

h. 公共空間のみどりや民有地のみどりによって、良いまちの景観がつくられている。

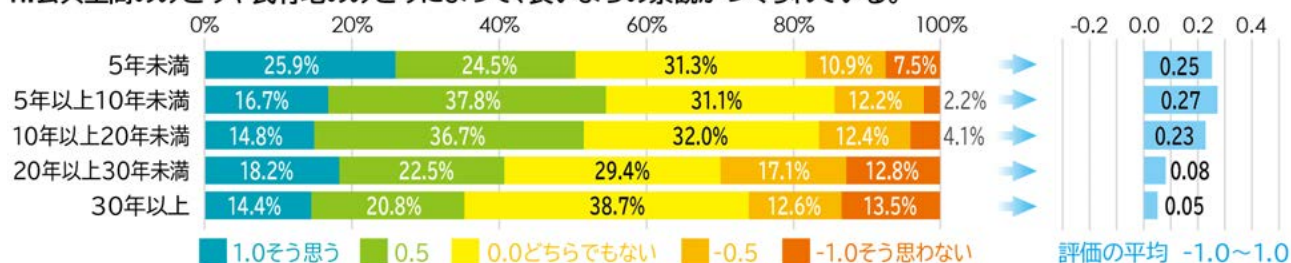


図 28 「公共空間のみどりや民有地のみどりによって、良いまちの景観がつくられている。」《居住年数別》

4) 世帯構成別

- 「a. 朝霞市のみどりの豊かさや魅力に満足している。」で最も評価が高いのは、18歳未満の子どもがいて一番上の子どもが小学生・中学生(0.29)ですが、他の世帯構成の評価との差は小さいものとなっています。
- 「b. お住いの近くのみどりの豊かさや魅力に満足している。」で最も評価が高いのは、18歳未満の子どもがいて一番上の子どもが小学生・中学生(0.29)です。18歳未満の子どもがいて一番上の子どもが小学校入学前とその他で少し評価が低く、その他(0.12)が最も低い評価となっています。
- 「a.朝霞市のみどり」と「b.お住まいの近くのみどり」の評価を比較すると、全ての世帯構成で、「a.朝霞市のみどり」の方が高い評価となっています。
- 「c. 朝霞市の公園に満足している。」で最も評価が高いのは、配偶者がいて子どもがいない(0.21)ですが、他の世帯構成の評価との差は小さいものとなりました。
- 「d. お住いの近くの公園に満足している。」で最も評価が高いのは、配偶者がいて子どもがいない(0.11)です。一方、18歳未満の子どもがいて一番上の子どもが小学校入学前(-0.04)の評価が、最も低くなっています。
- 「c.朝霞市の公園」と「d.お住まいの近くの公園」の評価を比較すると、全ての世帯構成で、「c.朝霞市の公園」の方が高い評価となっています。「d.お住まいの近くの公園」の評価は最も高く0.11であり、全体的に低い評価となっています。
- 「e. 公園などでレクリエーション活動が楽しめる。」で最も評価が高いのは、18歳未満の子どもがいて一番上の子どもが小学生・中学生(0.04)であり、全体的に低い評価となっています。配偶者がいて子どもがいない人(-0.09)の評価が最も低くなっています。
- 「f. 様々な生き物が生息できる自然環境がある。」で最も評価が高いのは、18歳未満の子どもがいて一番上の子どもが小学生・中学生(0.29)であり、他の家族構成の評価との差が大きい結果となりました。一方、単身者である人(0.01)が最も低い評価となっています。
- 「g. 災害時に避難地や活動拠点として機能する公園がある。」で最も評価が高いのは、単身者であるひと(0.09)と18歳未満の子どもがいて一番上の子どもが小学生・中学生である人(0.09)であり、他の世帯構成との差が大きい結果となりました。その他の世帯構成では低い評価となっており、18歳未満の子どもがいて一番上の子どもが中学を卒業している人(-0.02)とその他(-0.01)でマイナスの評価となっています。
- 「h.公共空間のみどりや民有地のみどりによって、良いまちの景観がつけられている。」で最も評価が高いのは、18歳未満の子どもがいて小学校入学前(0.23)と小学生・中学生(0.23)ですが、他の世帯構成の評価との差は小さい結果となりました。
- 全体を通してみると、「d. お住いの近くの公園に満足している。」、「e. 公園などでレクリエーション活動が楽しめる。」、「g. 災害時に避難地や活動拠点として機能する公園がある。」の評価がどの世帯構成においても低い値となっています。特に、「d. お住いの近くの公園に満足している。」において、18歳未満の子どもがいて一番上の子が小学生・中学生である人の評価だけがマイナスになっています。一方で、「f. 様々な生き物が生息できる自然環境がある。」においては、生き物とのふれあいが多いと思われる、18歳未満の子どもがいて一番上の子が小学生・中学生である人の評価が一番高くなっています。

a. 朝霞市のみどりの豊かさや魅力に満足している。

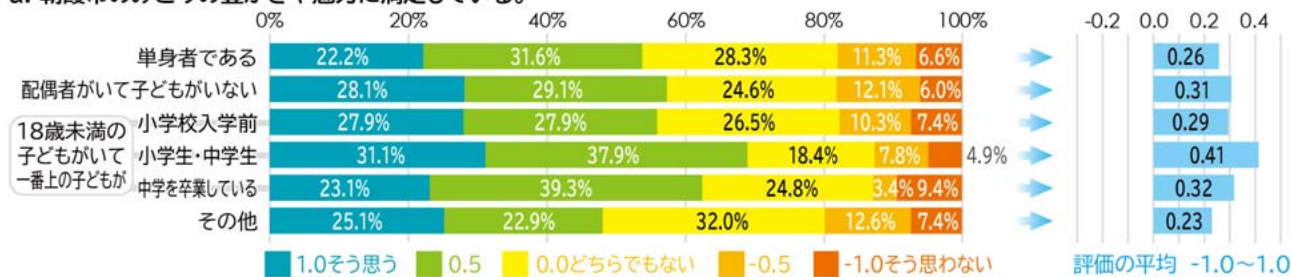


図 29 「朝霞市のみどりの豊かさや魅力に満足している。」《世帯構成別》

b. お住いの近くのみどりの豊かさや魅力に満足している。

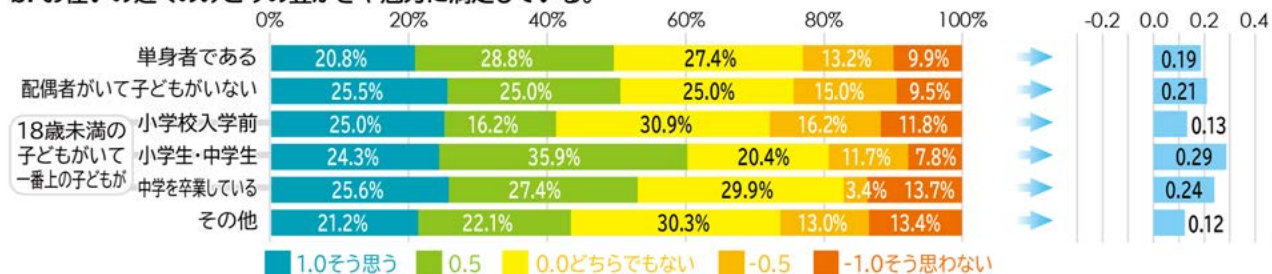


図 30 「お住いの近くのみどりの豊かさや魅力に満足している。」《世帯構成別》

c. 朝霞市の公園に満足している。

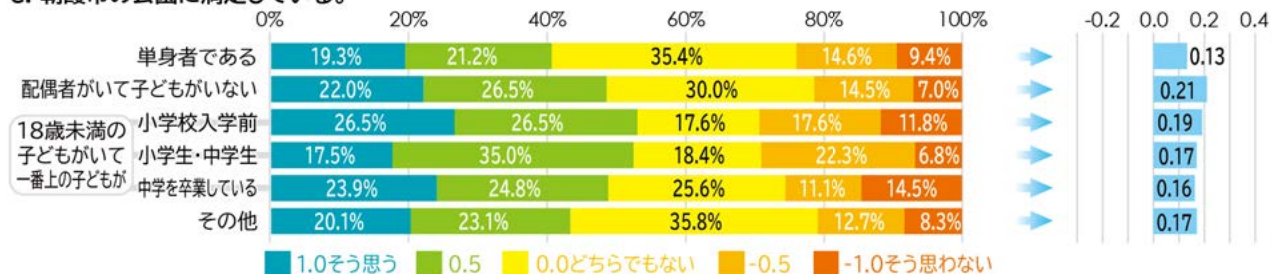


図 31 「朝霞市の公園に満足している。」《世帯構成別》

d. お住いの近くの公園に満足している。

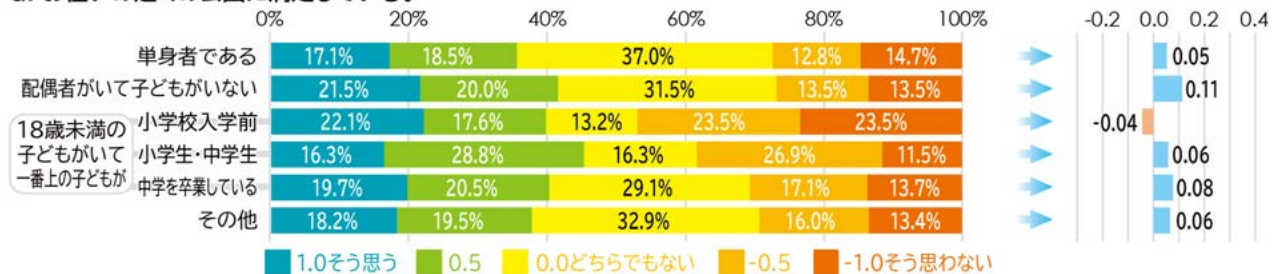


図 32 「お住いの近くの公園に満足している。」《世帯構成別》

e. 公園などでレクリエーション活動が楽しめる。

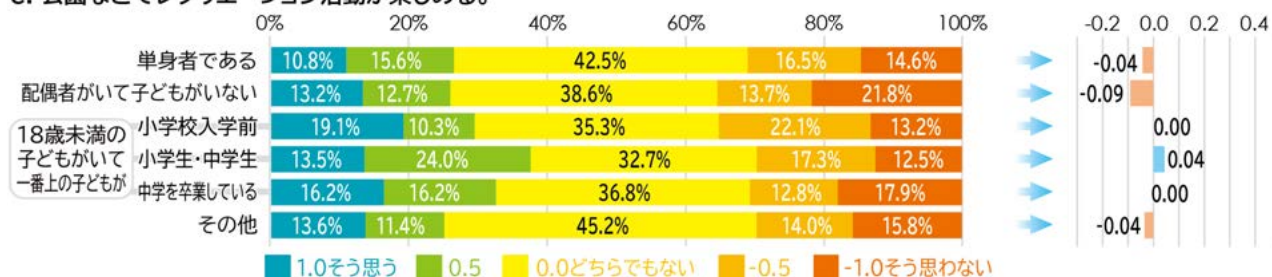


図 33 「公園などでレクリエーション活動が楽しめる。」《世帯構成別》

f. 様々な生き物が生息できる自然環境がある。

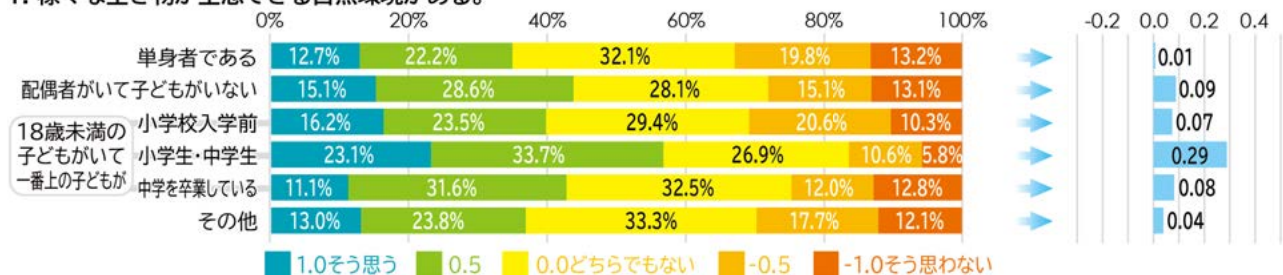


図 34 「様々な生き物が生息できる自然環境がある。」《世帯構成別》

g. 災害時に避難地や活動拠点として機能する公園がある。

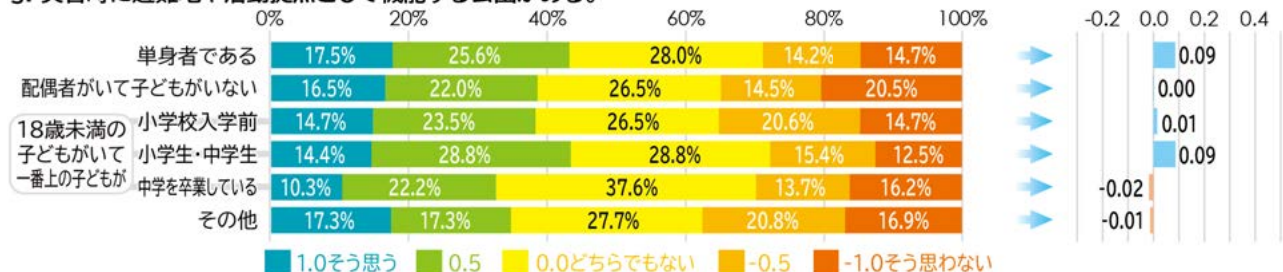


図 35 「災害時に避難地や活動拠点として機能する公園がある。」《世帯構成別》

h. 公共空間のみどりや民有地のみどりによって、良いまちの景観がつくられている。

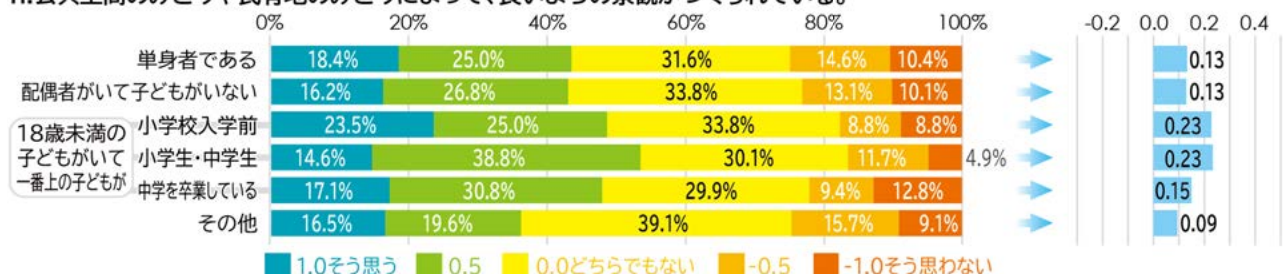


図 36 「公共空間のみどりや民有地のみどりによって、良いまちの景観がつくられている。」《世帯構成別》

3-3 豊か・魅力的と感じるみどり

問2 市内のどんな場所で、みどり・自然が豊か、魅力的であると感じますか。

- 最も多くの人がみどり・自然が豊か、魅力的であると感じているのは、黒目川(331人)でした。
- 次いで、青葉台公園(116人)・シンボルロード(115人)・朝霞の森(106人)・市役所周辺(48人)・中央公園(43人)・公園通り(29人)・米軍基地跡(15人)が上位に挙げられており、市役所から朝霞の森の一带を魅力的であると感じている人が多い結果となりました。
- 黒目川だけではなく、新河岸川や越戸川も10人以上が魅力的と回答しています。
- 公園では、地区公園の青葉台公園(116人)、城山公園(70人)、朝霞中央公園(43人)が上位に挙げられ、次いで近隣公園の滝の根公園(35人)と大きい公園を記載する人が多く見られました。

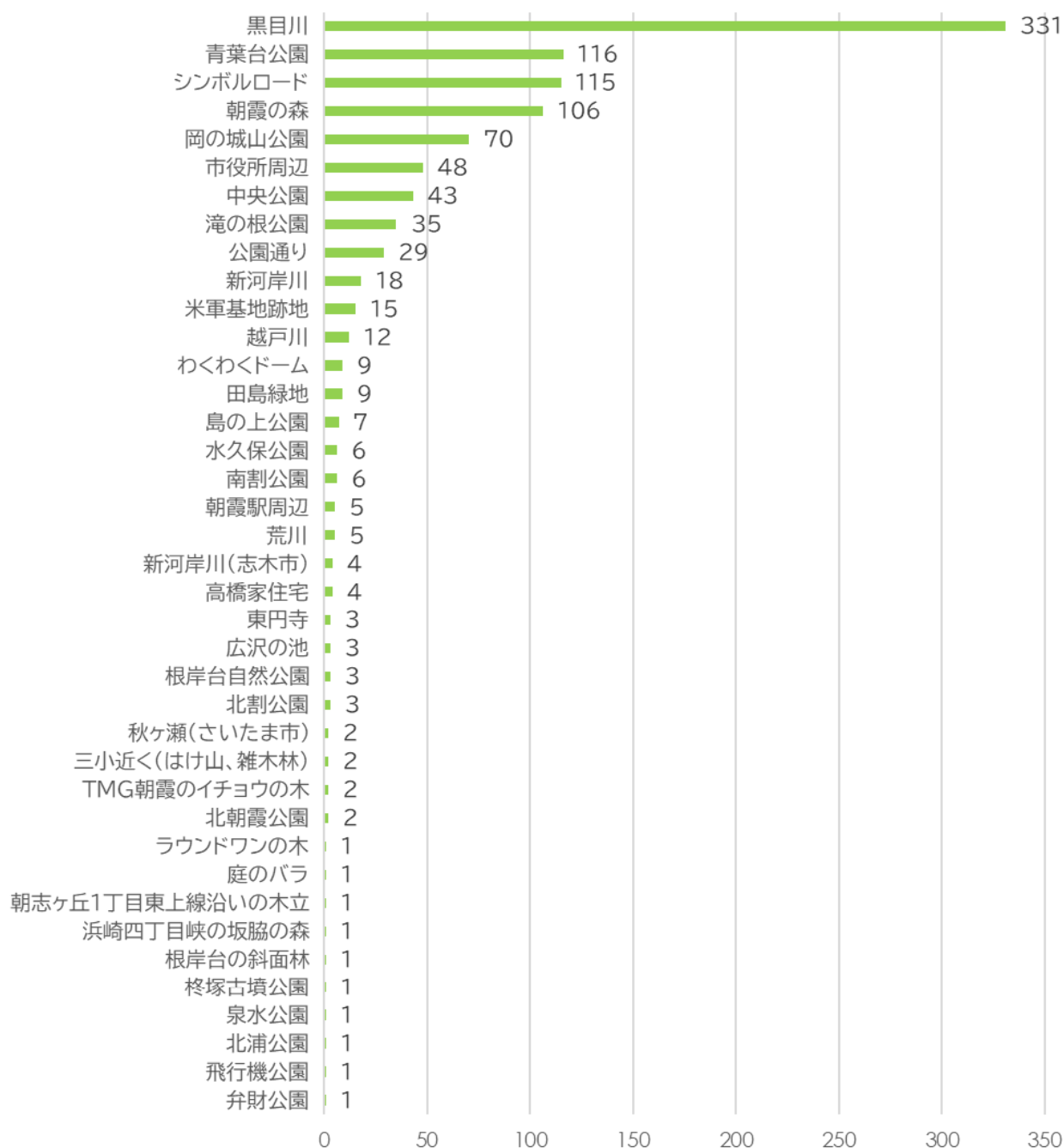


図 37 豊か・魅力的と感じるみどり(回答数)

3-4 将来に残していきたいと思うみどり

問3 将来にわたって残しておきたいと思うみどりがありましたらご記入ください。

- 最も多く記載されたのは朝霞の森(158人)であり、次いで黒目川(154人)が多く挙げられました。
- 地区公園の城山公園(85人)、青葉台公園(55人)、朝霞中央公園(13人)や近隣公園の滝の根公園(27人)といった広い公園も多くの方が記入しています。
- また、国有地である、朝霞の森(158人)、シンボルロード(42人)、米軍基地跡地(34人)についても多くの人が残しておきたいと思うみどりに挙げています。

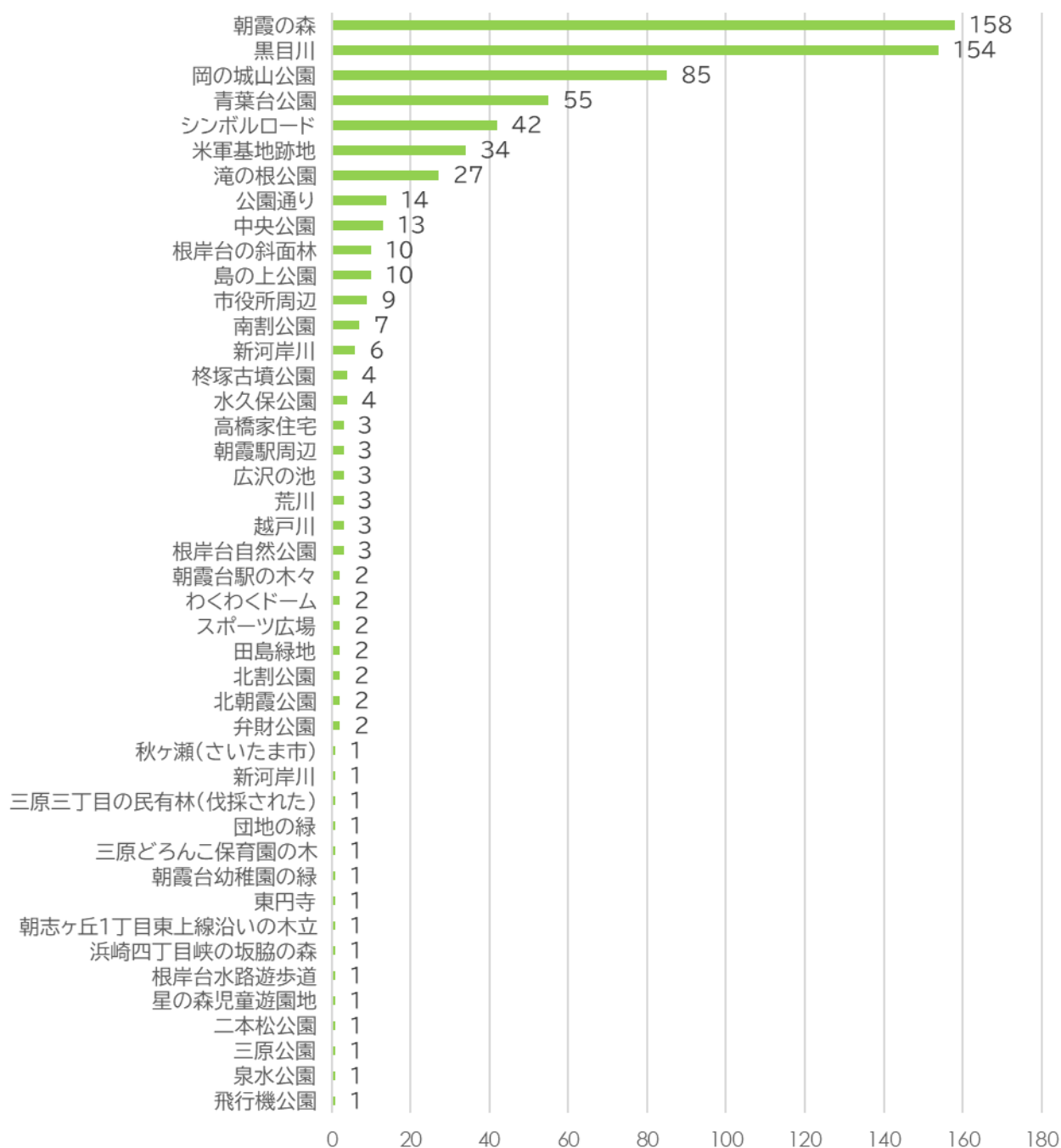


図 38 将来に残しておきたいみどり(回答数)

3-5 市内の公園の利用頻度

問4 あなたはどのくらいの頻度で、市内の公園を利用していますか。概ねの回数をご記入ください。この1年間に利用したことがなければ1年間に0回とご記入ください。

- 市内公園の平均利用回数は30.9回/年となりました。
- 地域別では、南部地域が35.9回と平均利用回数が最も多く、一方内間木地域(13.5回)が最も少ない回数となりました。
- 年代別集計では、30歳代が51.1回と平均利用回数が最も多く、10歳代(8.5回)が最も少ない回数となりました。
- 世帯構成別集計では、18歳未満の子どもがいて一番上の子どもが小学校入学前である世帯の平均利用回数が73.8回と最も多く、単身者である世帯(19回)が最も少ない回数となっている。
- 全体を通してみると、18歳未満の子どもがいて一番上の子どもが小学校入学前である世帯が、73.8回と際立って多い利用回数となっています。

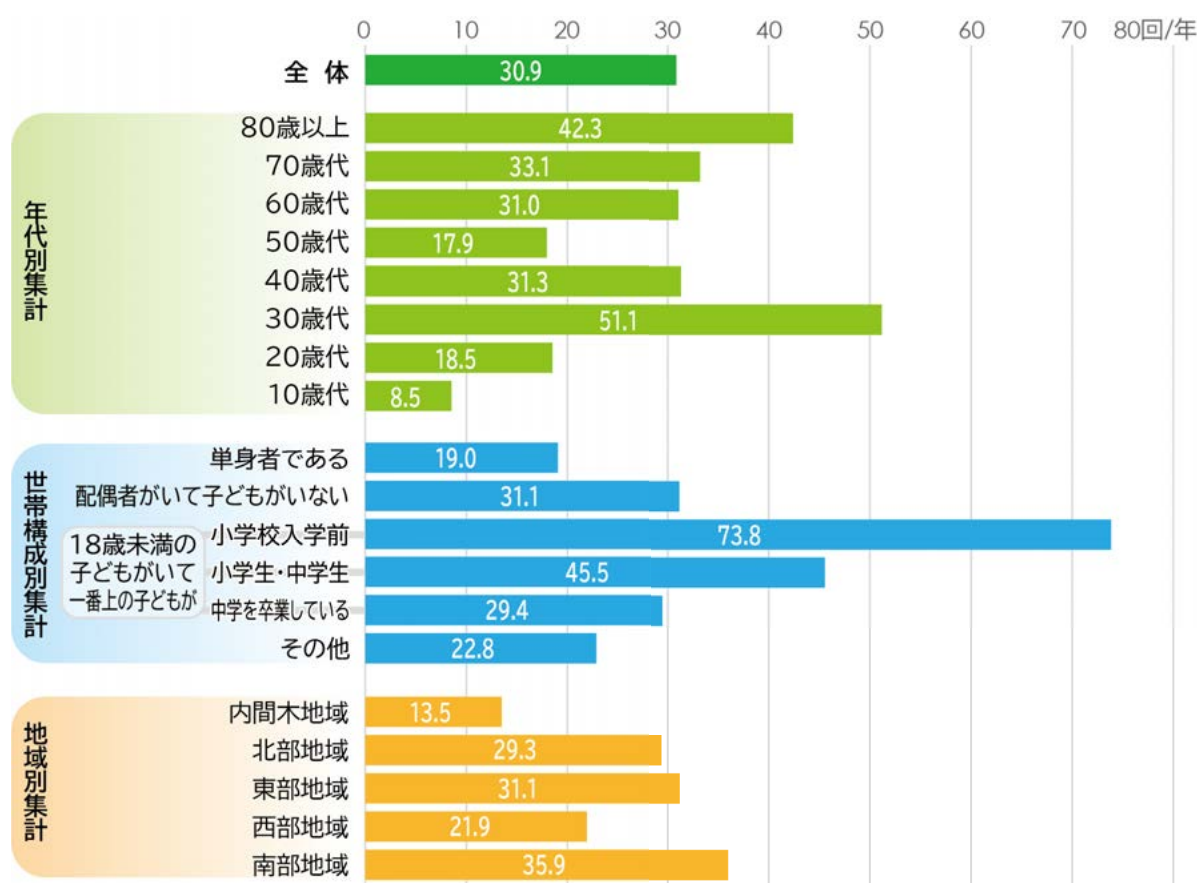


図 39 市内の公園利用頻度(全体・年代別・世帯構成別・地域別)

3-6 お住いの近くの公園について

問5	お住まいの近くの公園についておたずねします。公園の名称をご記入いただき、以下の項目について“そう思う”から“そう思わない”まで5段階で評価して番号に○をつけてください。
----	--

3-6-1 回答上位公園の集計

● 「a. ベンチなどの休憩施設が充実している。」という設問の評価は、シンボルロード(0.75)が最も高い評価となっています。一方、宮戸立出児童遊園地(-0.67)が最も低い評価となっています。 ● 「b.安全に遊べる遊具が充実している」という設問の評価は、あかね公園(0.5)が最も高い評価となっています。一方、まぼりみなみ公園(-0.94)が最も低い評価となっています。 ● 「c.公園の植物がよい景観をつくっている。」という設問の評価は、シンボルロード(0.75)が最も高い評価となっています。一方、まぼりみなみ公園(-0.89)が最も低い評価となっています。 ● 「d.夏の日よけになる木陰が十分ある。」という設問の評価は、シンボルロード(0.81)が最も高い評価となっています。一方、まぼりみなみ公園(-0.89)が最も低い評価となっています。 ● 「e.樹木が成長しすぎて見通しが良くない。」という設問の評価は、星の森児童遊園地が-0.38で最も見通しが良くないという評価となっています。 ● 「f.雑草が生い茂っているため利用しにくい。」という設問の評価は、宮戸立出児童遊園地が-0.58であり、最も「雑草が生い茂り、利用しにくい」という評価となっています。 ● 「g.防犯上心配で利用しにくい。」という設問の評価は、根岸児童遊園地が-0.40であり、最も防犯上心配で利用しにくい公園という評価になっています。 ● 「h.近くの住民によく利用されている。」という設問の評価は、南の風公園(0.81)で最も高い評価となっています。一方、「近くに公園がない」と回答した人の評価が最も低い評価となっています。 ● 「i. 特定の利用者が占有して利用しにくい」という設問の評価は、星の森児童遊園地が-0.38であり、最も特定の利用者が占有して利用しにくいという評価になっています。 ● 参考としてa～iまでの評価点の平均をみると、シンボルロードが0.60で最も高く、次いで朝霞中央公園(0.49)、根岸台6丁目児童遊園地(0.42)、あけぼの公園(0.40)、朝霞の森(0.38)の順となりました。一方、根岸児童遊園地が-0.18で最も低い結果となり、次いで宮戸立出児童遊園地(-0.17)、星の森児童遊園地(-0.10)の順となっています。

公園名	回答数	a.ベンチなどの休憩施設が充実している。	b.安全に遊べる遊具が充実している。	c.公園の植物がよい景観をつくっている。	d.夏場の日よけになる木陰が十分ある。	e.樹木が成長しすぎが見通しにくい。	f.雑草が生い茂っているため利用しにくい。	g.防犯上心配で利用しにくい。	h.近くの住民によく利用されている。	i.特定の利用者が占有して利用しにくい。	総合点 -1.0~1.0 (参考)
シンボルロード	8	0.75	0.21	0.75	0.81	0.38	0.69	0.44	0.69	0.64	0.60
朝霞中央公園	47	0.51	0.37	0.62	0.54	0.36	0.47	0.44	0.56	0.52	0.49
根岸台6丁目児童遊園地	5	-0.40	0.30	0.30	-0.10	0.80	0.80	0.80	0.60	0.67	0.42
あけぼの公園	16	0.28	0.33	0.47	0.25	0.34	0.40	0.38	0.54	0.64	0.40
朝霞の森	26	0.13	-0.03	0.65	0.50	0.26	0.36	0.45	0.59	0.50	0.38
青葉台公園	96	0.29	0.28	0.54	0.46	0.18	0.35	0.33	0.65	0.34	0.38
五反田公園	13	0.27	0.33	0.31	0.62	0.12	0.42	0.38	0.54	0.42	0.38
南割公園	25	-0.10	0.06	0.46	0.62	0.29	0.59	0.34	0.67	0.38	0.37
島の上公園	19	0.29	0.45	0.58	0.63	0.16	0.26	0.06	0.42	0.43	0.36
南の風公園	8	0.31	0.13	0.38	-0.14	0.25	0.63	0.19	0.81	0.71	0.36
北朝霞公園	39	0.05	0.20	0.32	0.28	0.42	0.58	0.31	0.54	0.40	0.35
北浦公園	20	0.18	0.17	0.22	0.11	0.37	0.66	0.34	0.47	0.53	0.34
泉水公園	17	0.13	0.20	0.26	0.59	0.26	0.62	0.12	0.41	0.41	0.33
越戸公園	8	0.25	0.38	0.13	0.06	0.21	0.29	0.50	0.44	0.64	0.32
弁財公園	20	-0.20	0.08	0.18	-0.18	0.40	0.63	0.45	0.76	0.59	0.30
浜崎公園	5	0.10	0.00	0.40	-0.10	0.50	0.40	0.40	0.60	0.40	0.30
三原公園	25	0.09	0.09	-0.11	-0.24	0.57	0.50	0.63	0.67	0.22	0.27
滝の根公園	44	-0.02	0.18	0.33	0.65	-0.08	0.24	0.02	0.50	0.50	0.26
北割公園	28	-0.25	-0.13	0.14	0.09	0.38	0.57	0.39	0.60	0.30	0.23
宮戸ハケタ公園	10	0.44	0.38	0.19	-0.31	0.00	0.06	0.25	0.78	0.25	0.22
緑ヶ丘児童遊園地	5	-0.30	-0.30	0.30	-0.50	0.50	0.70	0.90	0.25	0.33	0.21
浜崎峡(ハケ)公園	6	0.08	0.20	0.08	0.08	0.25	-0.17	0.50	0.50	0.33	0.21
城山公園	47	0.05	0.06	0.31	0.56	-0.02	-0.01	-0.03	0.33	0.43	0.19
あかね公園	7	0.00	0.50	-0.42	-0.40	0.50	0.00	0.42	0.64	0.40	0.18
水久保公園	9	0.19	-0.31	0.31	0.75	0.19	0.36	0.00	-0.19	0.31	0.18
二本松公園	7	0.08	-0.17	-0.14	0.00	0.25	0.42	0.00	0.64	0.50	0.18
根岸台自然公園	17	0.06	0.38	0.38	0.37	-0.13	-0.19	0.06	0.19	0.40	0.17
まぼりみなみ公園	9	0.17	-0.94	-0.89	-0.89	0.94	0.39	0.61	0.56	0.50	0.05
まぼりひがし公園	8	-0.14	-0.79	-0.36	-0.57	0.50	0.29	0.36	0.44	0.50	0.02
宮戸大山公園	11	-0.55	-0.09	-0.41	-0.09	0.14	-0.50	0.27	0.25	0.32	-0.07
中道公園	13	-0.27	-0.60	-0.13	-0.09	0.00	0.15	-0.32	0.32	0.15	-0.09
星の森児童遊園地	5	-0.38	-0.38	-0.38	0.38	-0.38	0.38	-0.25	0.50	-0.38	-0.10
宮戸立出児童遊園地	6	-0.67	-0.17	-0.50	-0.75	0.25	-0.58	0.08	0.42	0.40	-0.17
根岸児童遊園地	6	-0.42	-0.42	-0.17	-0.58	-0.08	-0.20	-0.40	0.33	0.30	-0.18
近くに公園がない	17	-0.50	-0.40	-0.08	-0.42	0.25	0.42	0.25	-0.40	0.20	-0.08
わからない	22	-0.17	-0.25	0.00	-0.25	0.40	0.50	-0.14	-0.30	0.50	0.03
無回答	175	-0.05	-0.05	0.03	-0.02	0.14	0.08	0.20	0.18	0.16	0.08

図 40 回答された公園の集計結果(4回答以下は除く)

3-6-2 全体と地域別の集計

- 「a. ベンチなどの休憩施設が充実している。」という設問の評価は、0.05でどちらでもないに近い評価となりました。最も評価が高いのは、内間木地区(0.22)、次いで南部地域(0.19)で高い評価となっています。一方、北部地域と西部地域ではマイナス評価となっています。
- 「b.安全に遊べる遊具が充実している」という設問の評価は、0.05でどちらでもないに近い評価となりました。最も評価が高いのは南部地域(0.16)ですが、その他の地域では全てマイナス評価となっています。
- 「c.公園の植物がよい景観をつくっている。」という設問の評価は、0.2でどちらでもないに近い評価となっています。南部地域(0.37)のみ、ややそう思うに近い値であり、最も高い評価になっています。
- 「d.夏の日よけになる木陰が十分ある。」という設問の評価は、0.17であり、どちらでもないに近い評価となっています。南部地域(0.36)のみ、ややそう思うに近い値であり、最も高い評価になっています。一方、その他の地域では0.1以下の低い評価となっています。
- 「e.樹木が成長しすぎて見通しが良くない。」という設問の評価は、-0.24であり、「ややそう思わない」に近い、プラスの評価となっていますが、内間木地域の評価のみ、低い値となっています。
- 「f.雑草が生い茂っているため利用しにくい。」という設問の評価は、-0.29であり、「ややそう思わない」に近い、プラスの評価となっています。
- 「g.防犯上心配で利用しにくい。」という設問の評価は、-0.25であり、「ややそう思わない」に近い、プラスの評価となっています。内間木地域のみ0.11と防犯上心配であるという評価となっています。
- 「h.近くの住民によく利用されている。」という設問の評価は、0.25であり、「ややそう思う」に近い評価となっていますが、内間木地区のみ「そう思う」と答えた人が極端に少なく、「利用されていない」という評価となっています。
- 「i. 特定の利用者が占有して利用しにくい」という設問の評価は、-0.37であり、「ややそう思わない」に近い、プラスの評価になっています。
- 全体を通してみると、「a. ベンチなどの休憩施設が充実している」、「b.安全に遊べる遊具が充実している」、「c.公園の植物がよい景観をつくっている」、「d.夏の日よけになる木陰が十分ある。」という設問では、共通して南部地域が高い評価となっている。一方、後半の設問に関しては、内間木地域が高い値となっており、「e.樹木が成長しすぎて見通しが良くない」、「f.雑草が生い茂っているため利用しにくい」、「g.防犯上心配で利用しにくい。」という評価となっています。また、「h.近くの住民によく利用されている。」という設問も内間木地域のみ低い評価となっています。

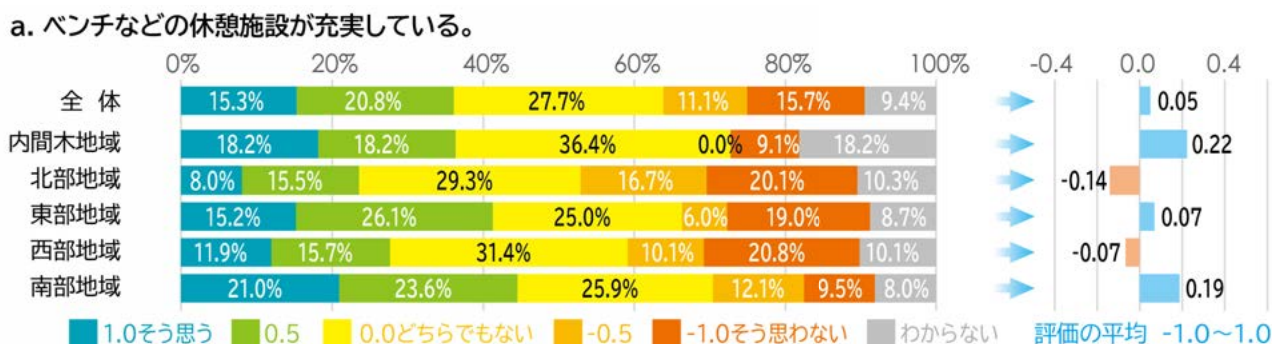


図 41 「ベンチなどの休憩施設が充実している。《全体・地域別》

b. 安全に遊べる遊具が充実している。

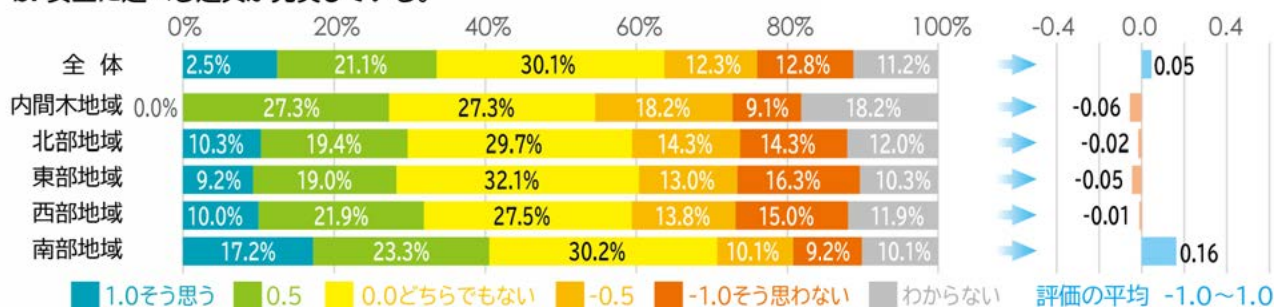


図 42 「安全に遊べる遊具が充実している。」《全体・地域別》

c. 公園の植物がよい景観をつくっている。

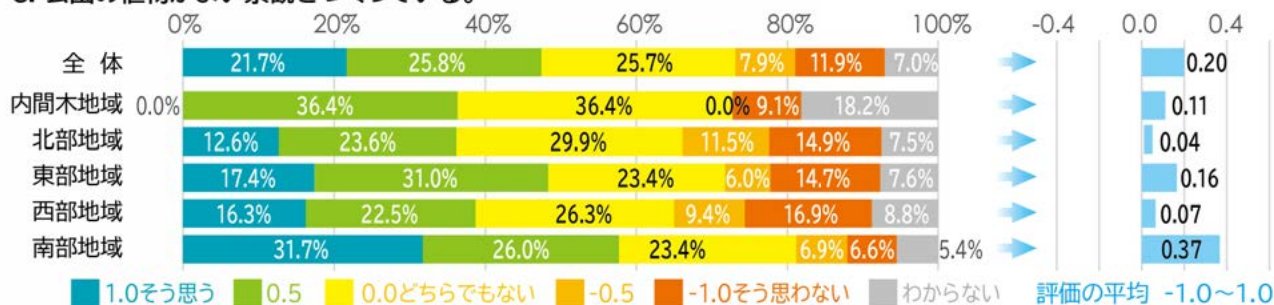


図 43 「公園の植物がよい景観をつくっている。」《全体・地域別》

d. 夏場の日よけになる木陰が十分ある。

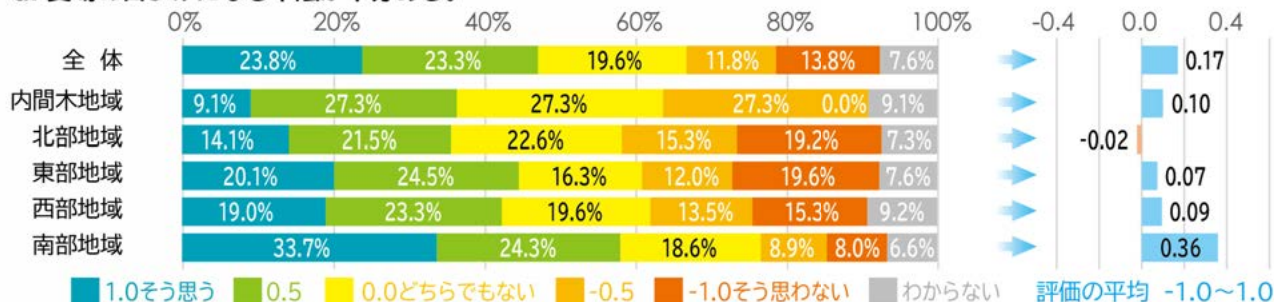


図 44 「夏場の日よけになる木陰が十分にある。」《全体・地域別》

e. 樹木が成長しすぎて見通しが良くない。

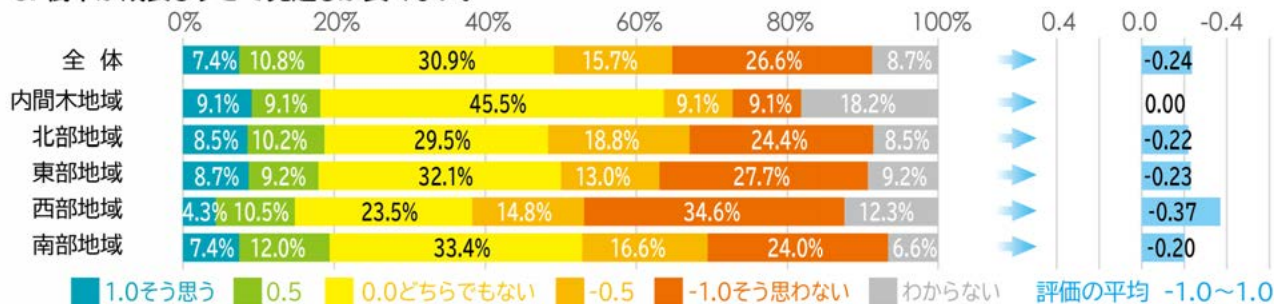


図 45 「樹木が成長しすぎて見通しが良くない。」《全体・地域別》

f. 雑草が生い茂っているため利用しにくい。

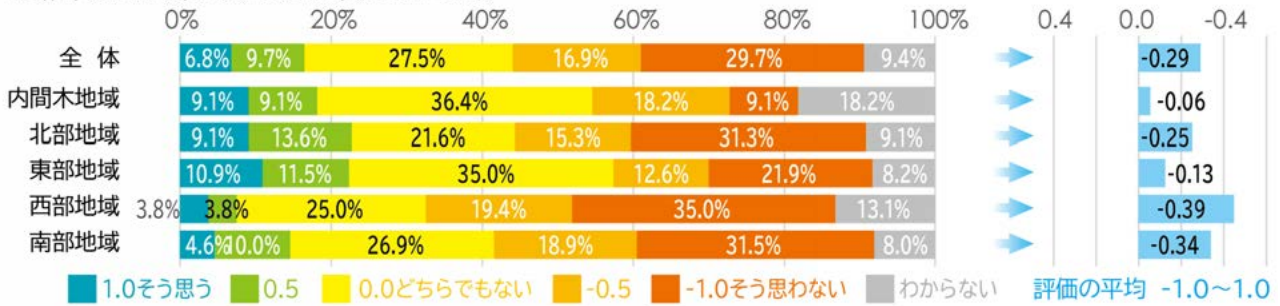


図 46 「雑草が生い茂っているため利用しにくい。」《全体・地域別》

g. 防犯上心配で利用しにくい。

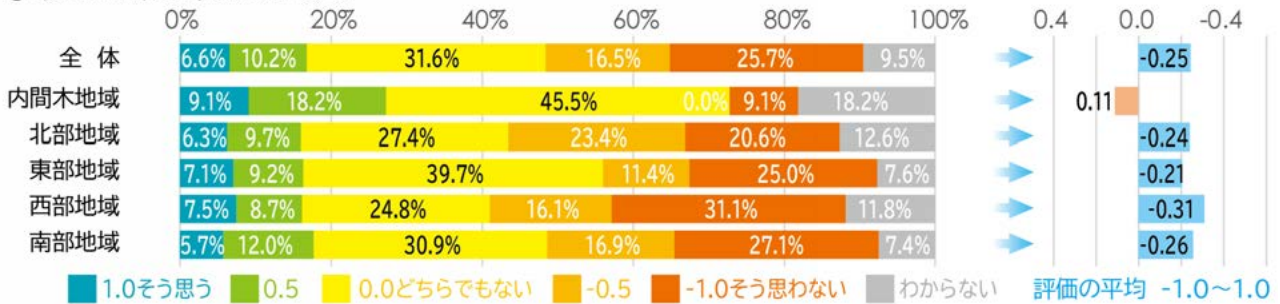


図 47 「防犯上心配で利用しにくい。」《全体・地域別》

h. 近くの住民によく利用されている。

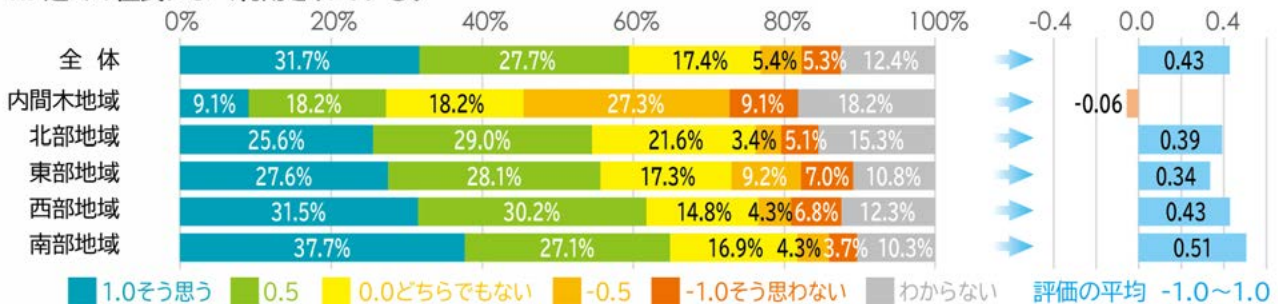


図 48 「近くの住民によく利用されている。」《全体・地域別》

i. 特定の利用者が占有して利用しにくい。

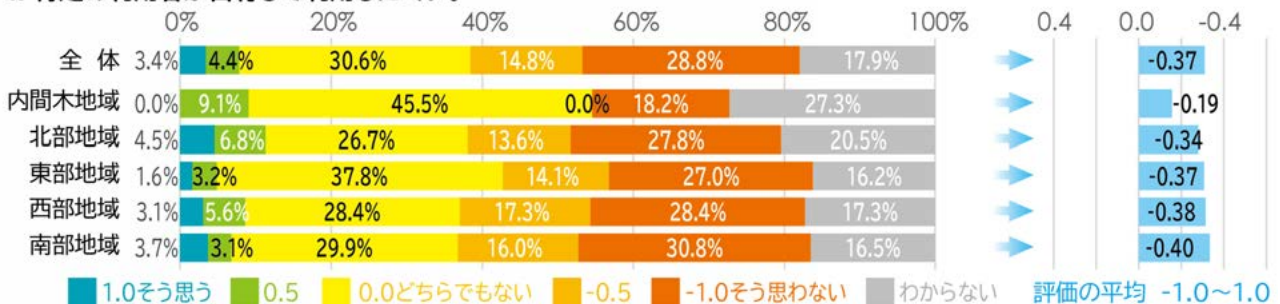


図 49 「特定の利用者が占有して利用しにくい。」《全体・地域別》

※

3-7 みどり豊かなまちづくりを推進するための重要な施策

問6 みどり豊かなまちづくりを推進するために、必要だと思われる次の施策のうち、とくに重要だと思われるものを3つ以内で選んで番号に○をつけてください。

- みどり豊かなまちづくりを推進するための重要な施策に関する問では、「道路においてみどり豊かで安全に歩ける歩道空間を整備する。」が351件で最も多く、次いで「だれもが気軽に利用できるように、小規模でも身近な公園や緑地を充実させる。(292件)」、「健康づくりや自然とのふれあいの場となる川沿いの散歩道を充実させる。(242件)」となりました。

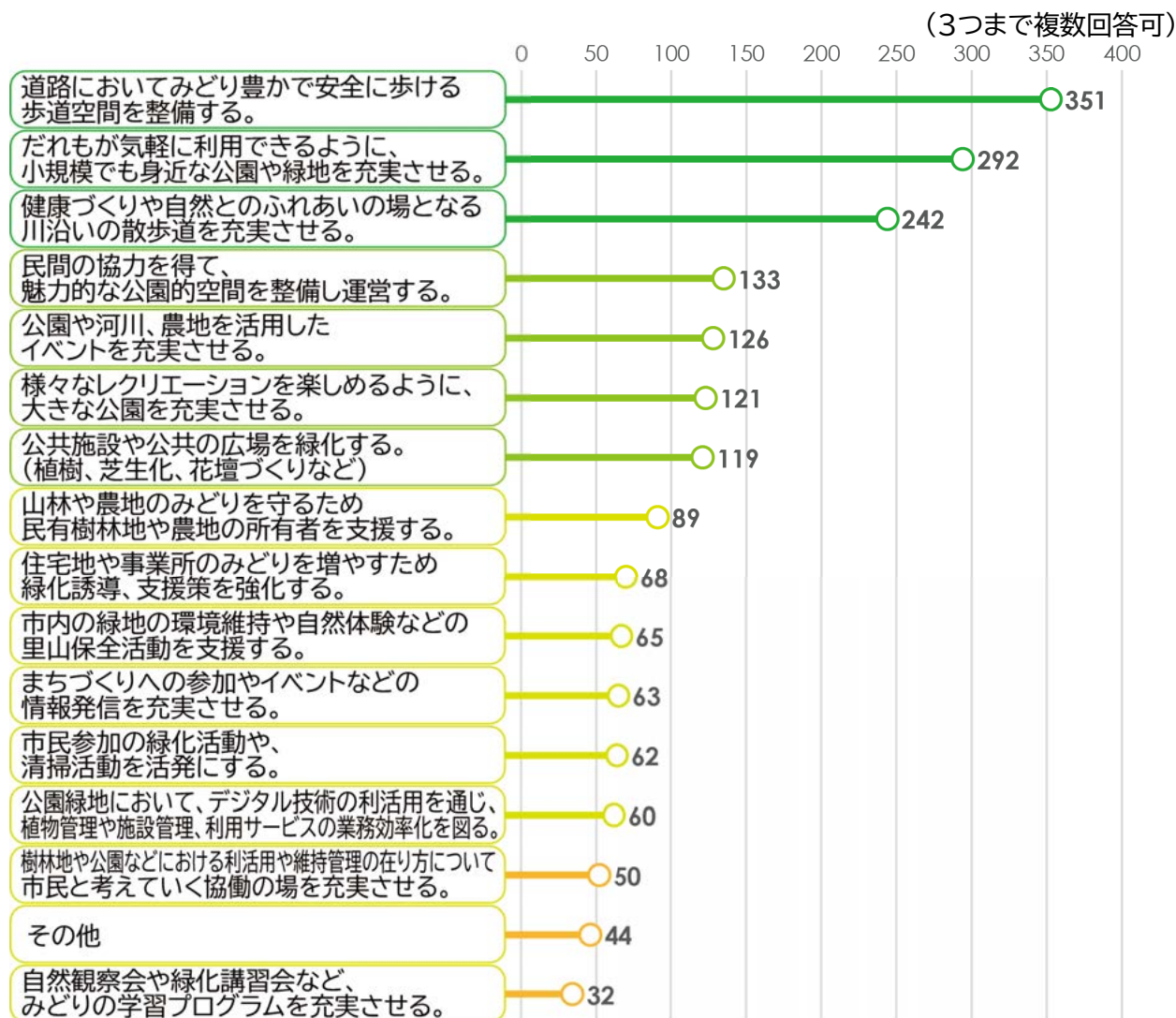


図 50 みどり豊かなまちづくりの推進に必要なと思われる施策《全体》

※数値は選択件数

- 「だれもが気軽に利用できるように小規模でも身近な公園や緑地を充実させる。」は、年代別では80歳以上、20歳代、70歳代、10歳代が全体より多く、世帯構成別では「18歳未満の子どもがいて一番上の子どもが小学校入学前」、「その他」、「18歳未満の子どもがいて一番上の子どもが中学を卒業している」、「単身者」が全体より多い結果となりました。また、地域別では内間木地域が34.4%とかなり大きな回答数となりました。
- 子育て世代では、レクリエーション空間を望む傾向があり、世代が上がるにつれ安全な歩行環境や自然とのふれあいを望む傾向にあります。

(n=1917、3つまで複数回答可)

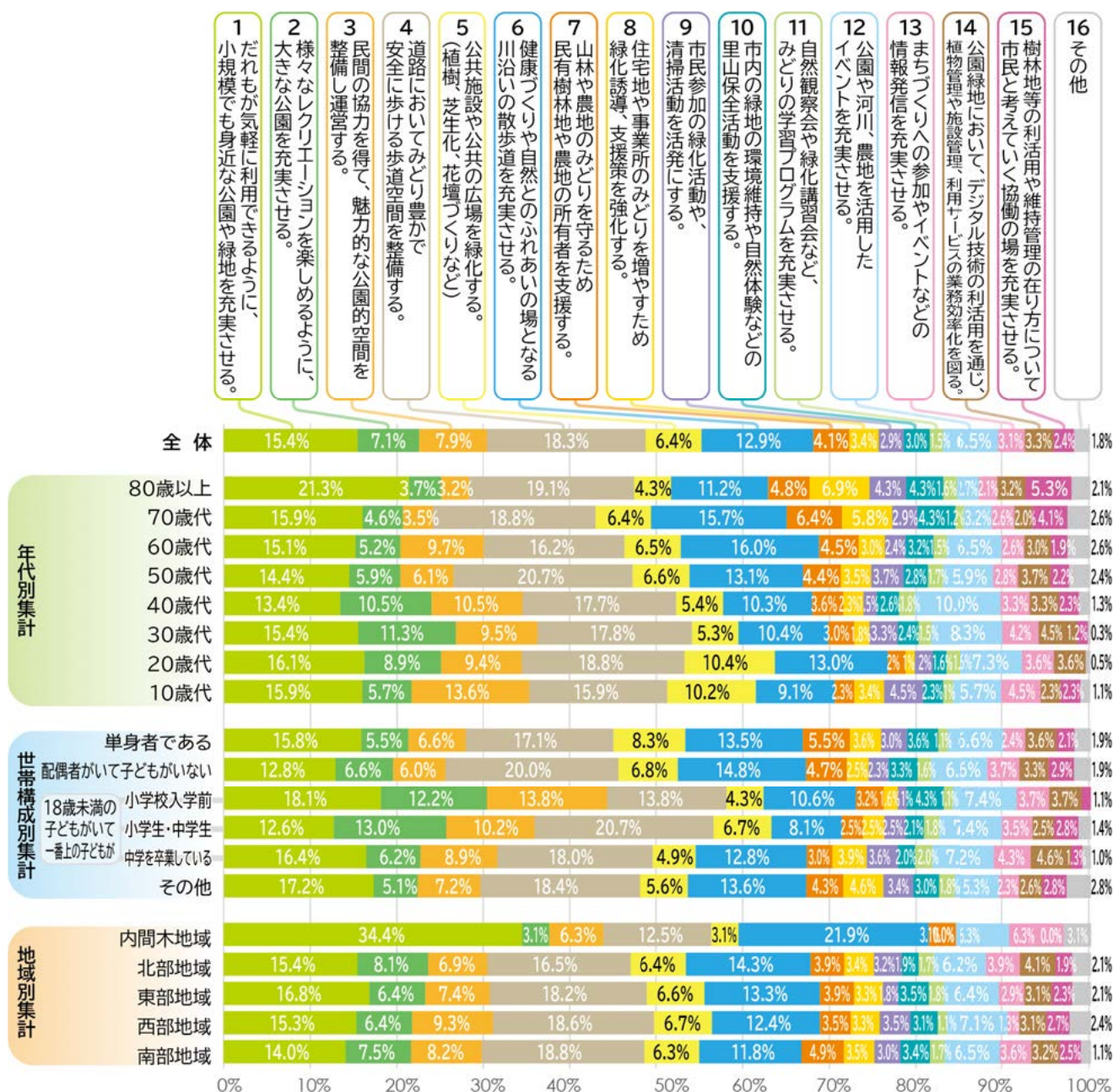


図 51 みどり豊かなまちづくりの推進に必要なと思われる施策《年代別・世帯構成別・地域別集計》

※数値は選択された施策の総数を母数とした場合の各施策の選択割合

※ 問6における「その他」への記述内容は、アンケートの最後に記入いただいた「アイデアやご意見・ご要望」と合わせて取りまとめています。

3-8 緑化活動・緑地保全活動への参加経験

3-8-1 参加経験、今後参加したい活動

問7 (7-1)	参加経験や取り組んでいる活動があれば「ある」に、なければ「なし」に○を付けてください。また、現在取り組んでいるものも含めて、今後参加したい・取り組んでみたいものには（今後参加したい）に○を付けて下さい。
-------------	---

- 緑化活動・緑地保全活動への参加経験に関する問では、「生け垣や花壇など自宅の庭の緑化」が22.9%で最も多く、次いで「道路などの清掃活動」が21.2%となりました。
- また、今後取り組みたい活動では、「市民農園や近所の空き地を借りた野菜や草花の生産」が9.3%と最も多く、次いで「緑化のための募金活動(6.9%)」、「公園愛護会など公園の花植えや清掃活動への参加(6.2%)」、「地域の団体で木や花を育てる(6.2%)」となりました。
- 「里山の保全活動」、「地域の団体で木や花を育てる」、「緑化に関する講習会に参加する」、「公園の計画づくりや管理運営を考えるワークショップへの参加」は、今後取り組みたい活動とする回答が参加経験のある活動とする回答を大きく超える結果となりました。

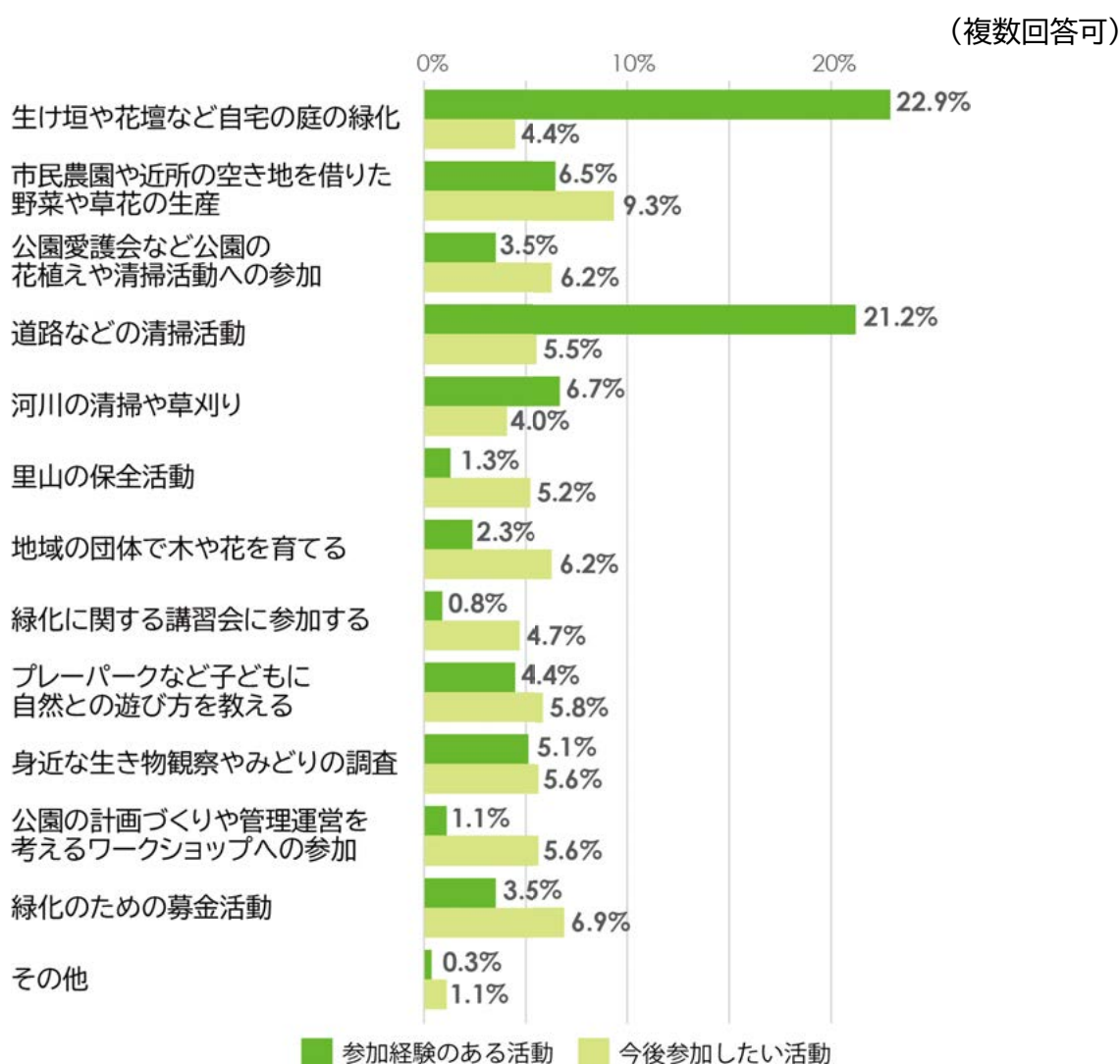


図 52 参加経験のある活動、今後参加したい活動(参加率)

※数値は有効回答人数(945人)における割合

- 「道路などの清掃活動」、「生け垣や花壇など自宅の庭の緑化」への参加経験は、高齢者で高く若くなるに従い低くなる傾向があります。
- 子育て世代では、「プレーパークなど子どもに自然との遊び方を教える」や「身近な生き物観察やみどりの調査」への参加経験が多い傾向にあります。
- 年代別の80歳以上や70歳代では、「全てに参加したことがない」が多世代と比べて高くなっています。

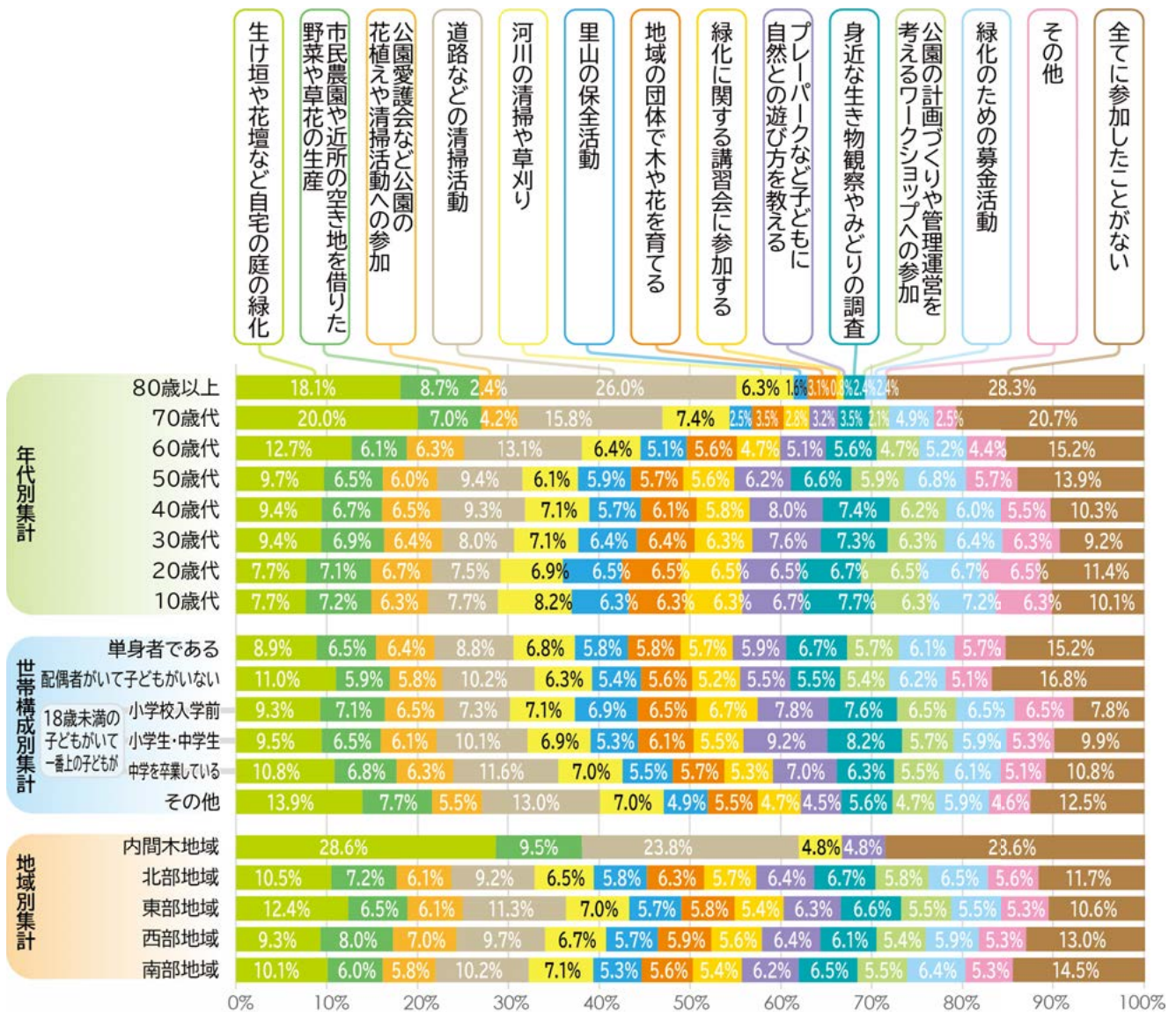


図 53 年代別・世帯構成別・地域別の参加活動構成比
 ※数値は選択された活動の総数を母数とした場合の各活動の選択割合

3-8-2 参加していない理由

問7 (7-2)	7-1で全ての項目で「なし」と回答された方にのみおたずねします。 市民による緑化活動・緑地保全活動に参加していない理由をお選び、番号に○をつけてください。（複数回答可）
-------------	---

- 市民による緑化活動や緑地保全活動に参加していない理由に関する問では、「参加する時間がない」が20.5%で最も多い結果となりました。

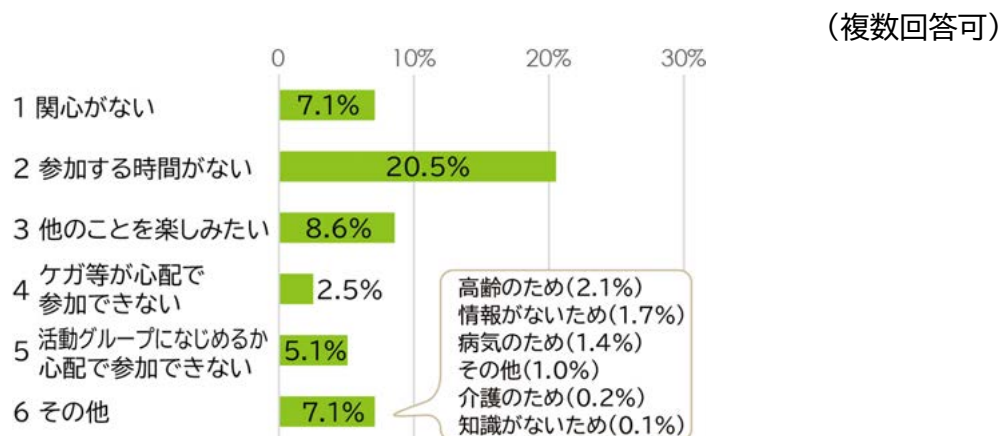


図 54 緑化活動・緑地保全活動に参加していない理由
※数値は有効回答人数（945人）における割合

3-9 市内の公園緑地で行われるイベントやまつりへの参加経験

問8 市内の公園や緑地等で行われているイベントやまつりに参加したり、足を運んだりしたことはありますか。以下の項目毎に参加経験の（ある・ない）を選び○を付けて下さい。

- 市内の公園緑地で行われるイベントやまつりへの参加経験に関する問では、「彩夏祭」が64.8%で最も多く、次いで「黒目川花まつり(46.3%)」、「身近な公園で開催される納涼祭やイベント(27.3%)」、「あさか冬のあかりテラス(25.6%)」、「ASAKA STREET TERRACE(23.3%)」となりました。

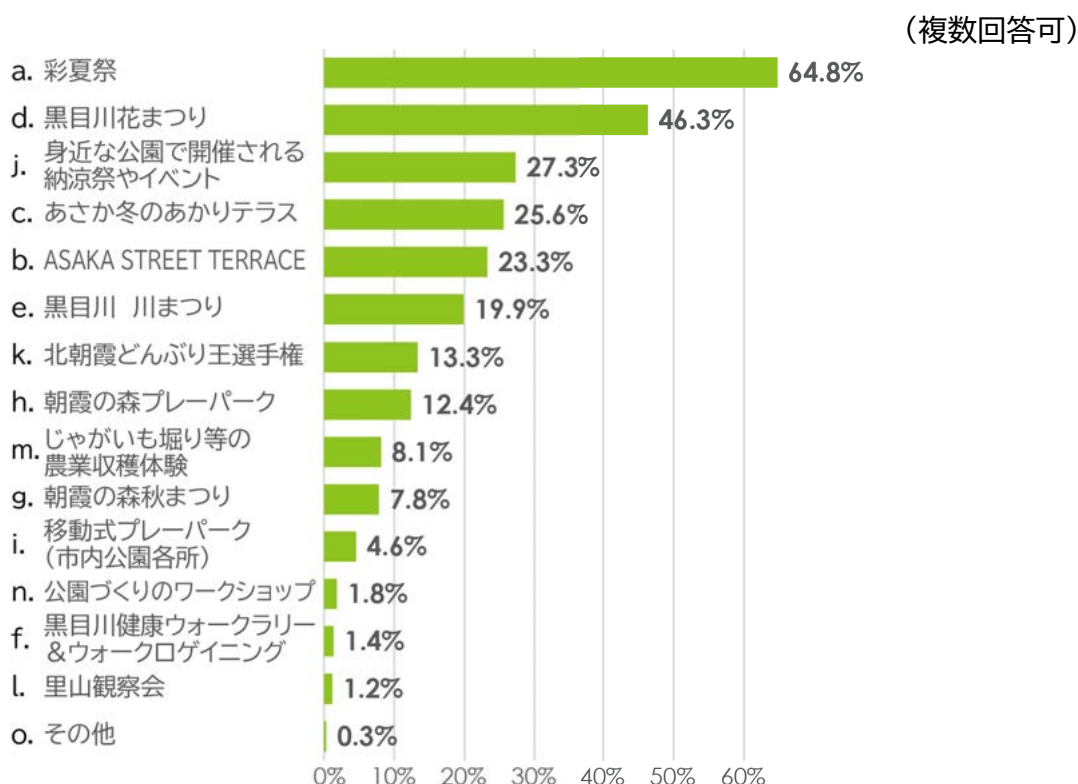


図 55 市内の公園緑地で行われるイベントやまつりへの参加経験

※数値は有効回答人数（945人）における回答割合

- 公園緑地におけるイベントへの参加経験があるとする方の年代構成をみると、「彩夏祭」や「黒目川花まつり」などの参加経験が多いイベントでは、概ね各年代から参加経験があることがわかります。
- また、子育て世代では、「朝霞の森プレーパーク」や「じゃがいも堀り等の農業収穫体験」、「移動式プレーパーク」などの体験型イベントへの参加が全体に比べて多い傾向にあります。

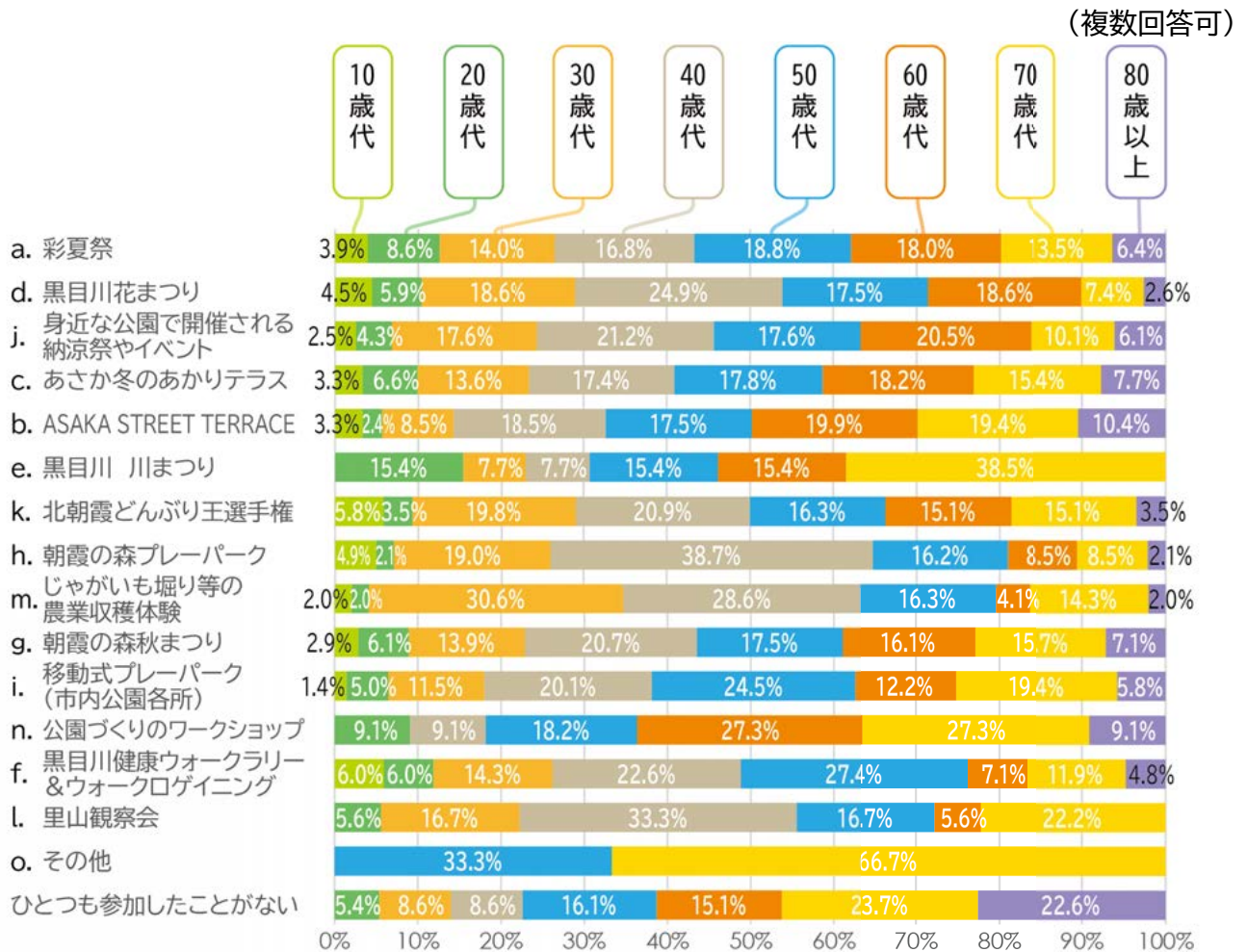


図 56 市内の公園緑地で行われるイベントやまつりへの参加経験《年代別》
※数値は各イベントの総数を母数とした場合の各年代の割合

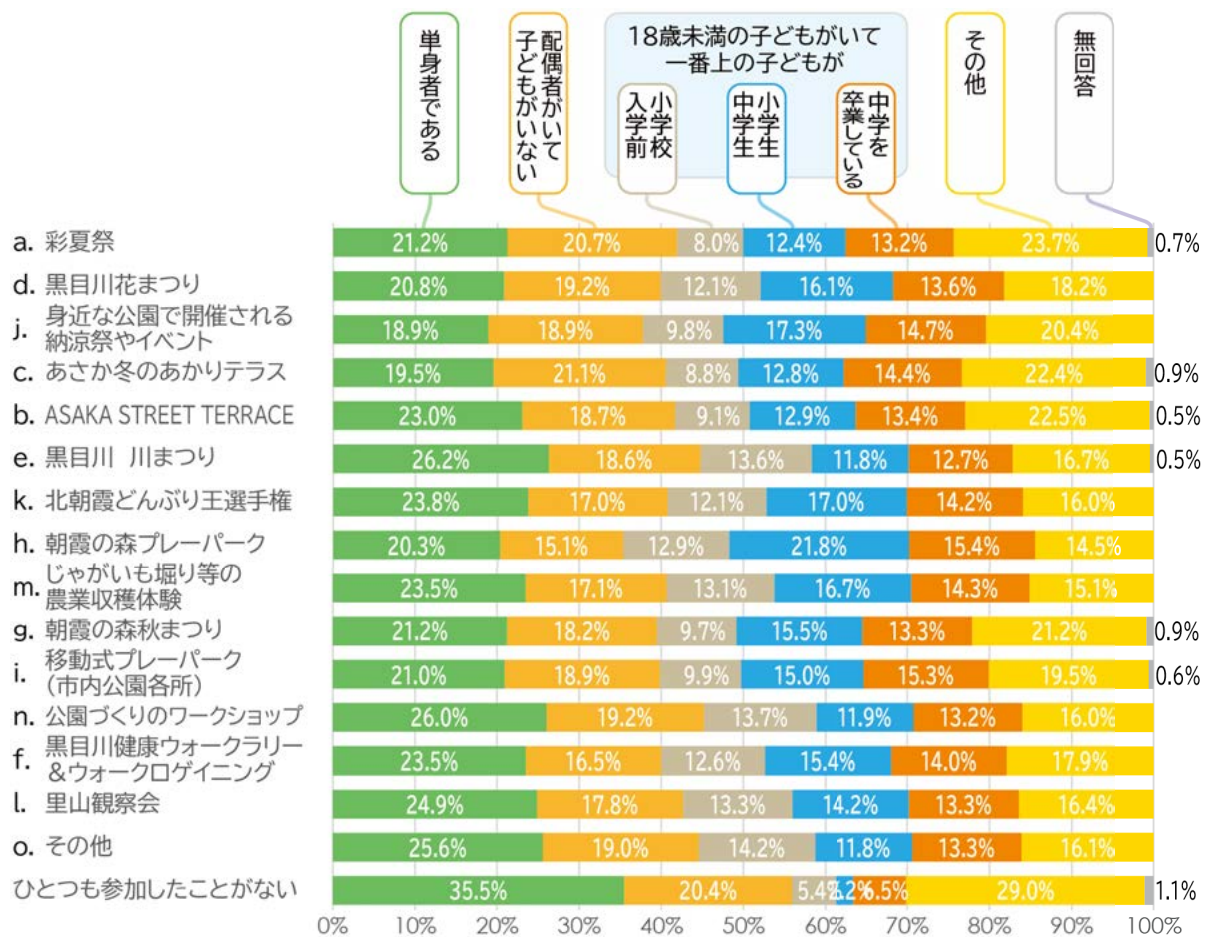


図 57 市内の公園緑地で行われるイベントやまつりへの参加経験《世帯構成別》

※数値は各イベントの総数を母数とした場合の各年代の割合

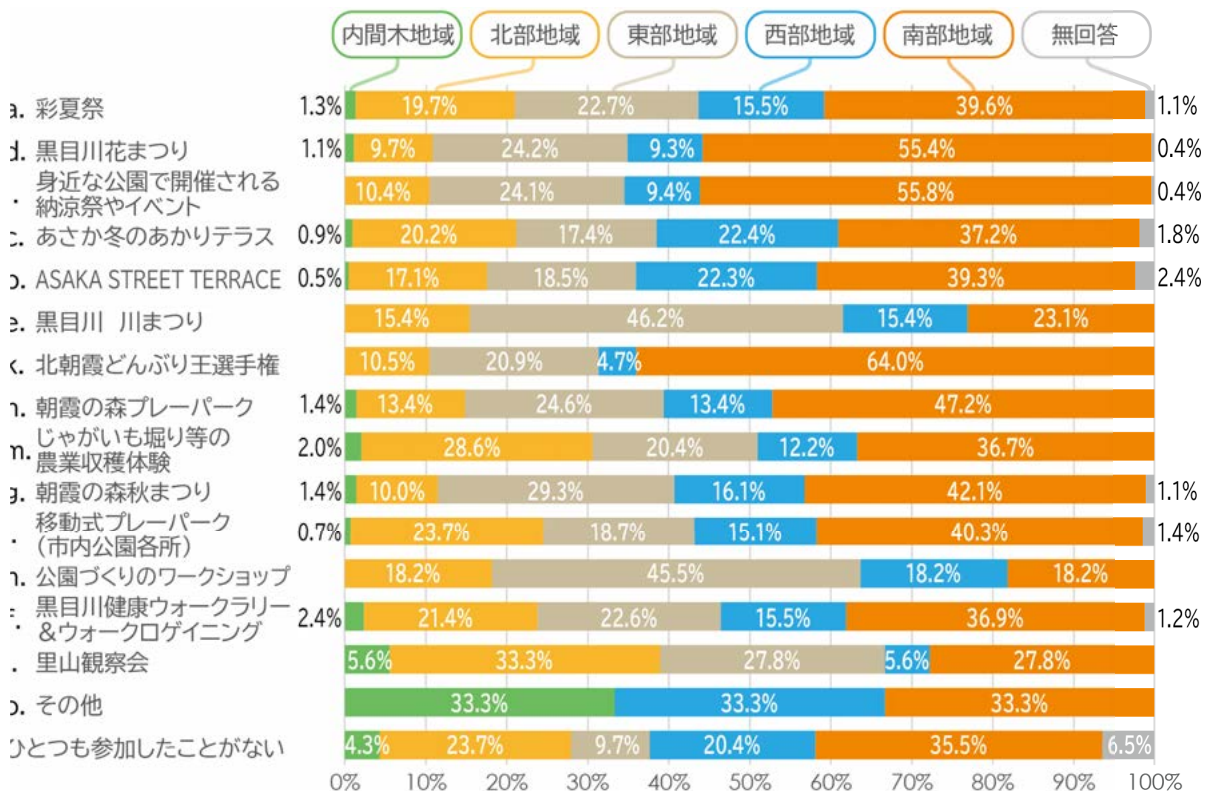


図 58 市内の公園緑地で行われるイベントやまつりへの参加経験《地域別》

※数値は各イベントの総数を母数とした場合の各年代の割合

3-10 自然環境が有する多様な機能の認知度

問9 自然環境が有する多様な機能を活用して、社会における様々な課題解決に活用しようとするまちづくりの手法「グリーンインフラ」が注目されています。 自然環境が有する機能のうち、あなたが知っているものをすべて選んで番号に○をつけてください。（複数回答可）

- 自然環境が有する多様な機能の認知度に関する問では、「CO2の吸収源となり地球温暖化を緩和する機能」が59.5%で最も多く、次いで「日射の緩和、蒸散作用により都市の気温の上昇を緩和する機能(47.8%)」、「生き物の生息空間となり身近な生き物や地域固有の生き物を守る機能(42.0%)」、「水害の軽減など自然災害による被害を軽減する機能(40.8%)」の順となりました。
- 年代別では、30歳代の認知度が最も高く、60歳代、40歳代、20歳代と続きます。

(複数回答可)

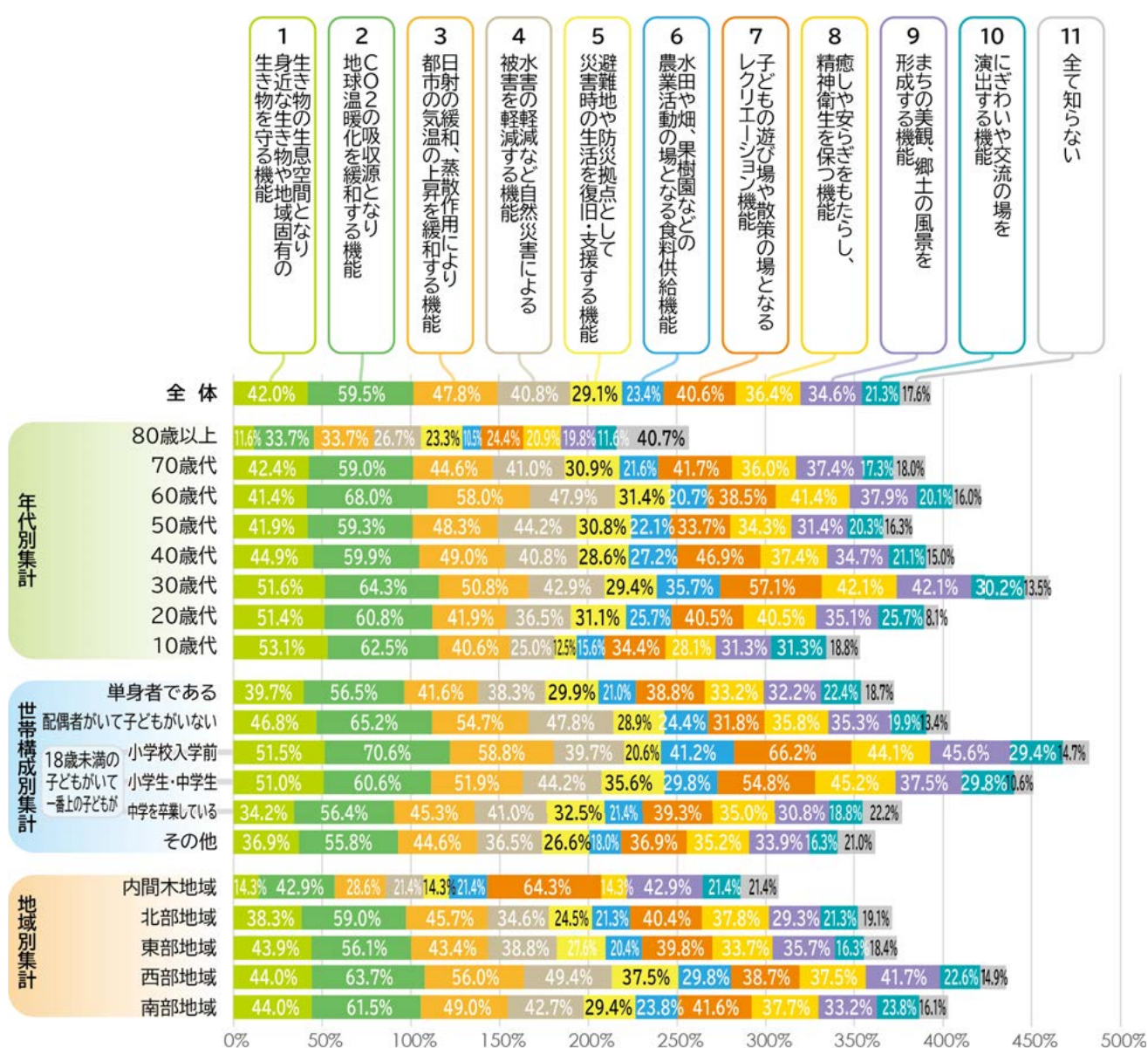


図 59 自然環境が有する多様な機能の認知度《全体・年代別・世帯構成別・地域別》

※数値は各属性に該当する方を母数とした場合のその機能を知っている方の割合

3-11 みどりを守るための仮定の支払い意思

問10	みどりを守るための仮定の支払い意思をおたずねします。 いま総額1,000円をもっていると仮定し、以下の機能を有するみどりを購入していただきます。 それぞれの機能を有するみどりを対象に、大事と思うみどりに多く、それほど大事ではないと思うみどりには少なく分配し、合計が1,000円になるようにしてください。
-----	--

- みどりを守るための仮定の支払い意思に関する問では、「CO2の吸収源となり地球温暖化を緩和するみどり」に対する支払いが¥158.-で最も高く、次いで「水害の軽減など自然災害による被害を軽減するみどり(¥135.-)」、「日射の緩和等により都市の気温上昇を緩和するみどり(¥125.-)」、「子どもの遊び場や散策の場となるみどり(¥121.-)」の順となりました。
- 世帯構成別における子育て世代、地域別における内間木地域では、「子どもの遊び場や散策の場となるみどり」への支払額が最も高くなっています。

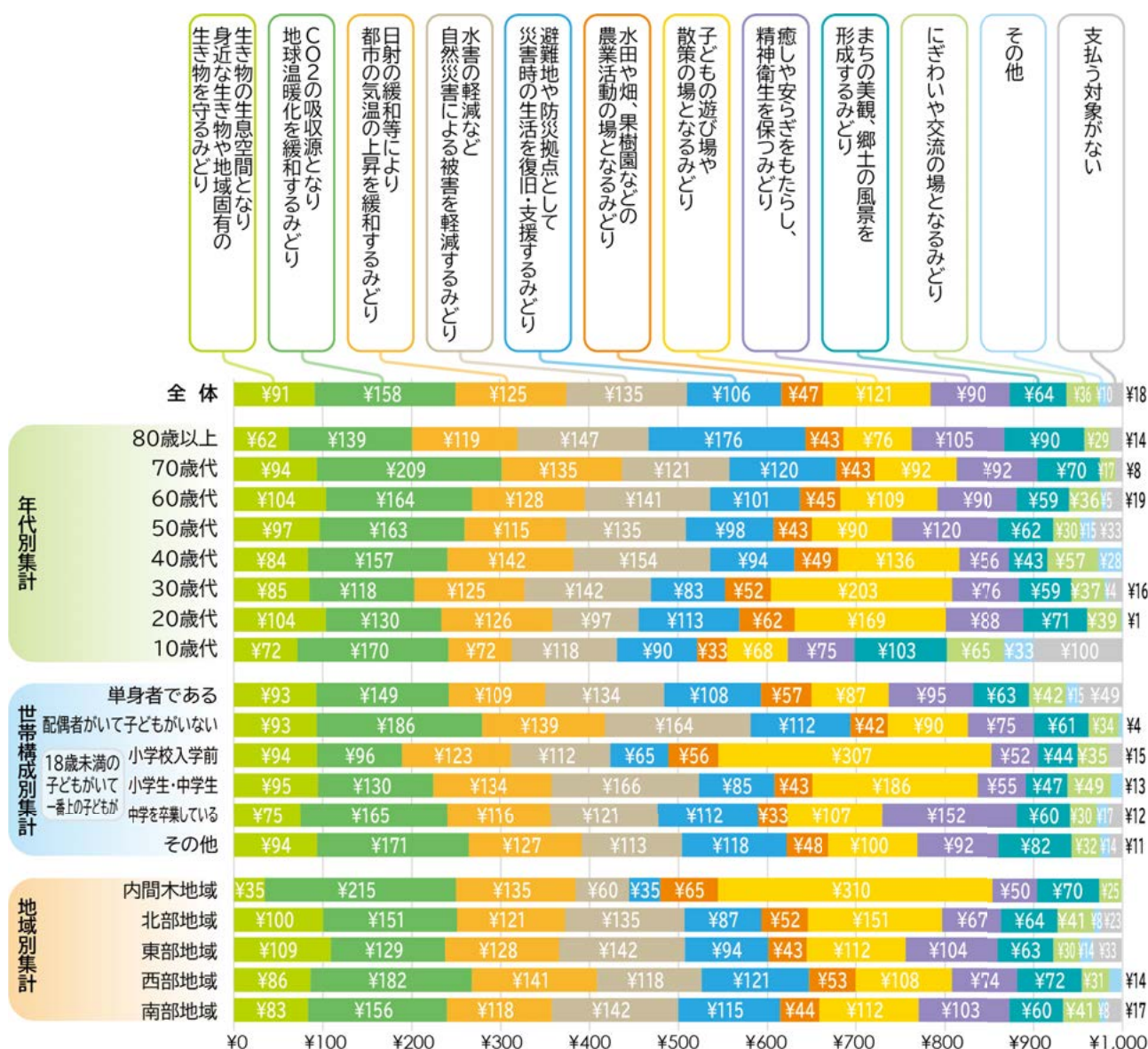


図 60 3-11 みどりを守るための仮定の支払い意思《全体・年代別・世帯構成別・地域別》

※数値は総額1000円から支払われる各機能の支払額

3-12 みどりのまちづくりについてのご意見・ご要望

最後に、朝霞市のみどりのまちづくりについて、アイデアやご意見・ご要望等がありましたら、ご自由にお書きください。

- 緑化の管理：公園や遊歩道、河川敷の景観や草刈りの管理、通学路の樹木や雑草の管理についての意見が述べられています。具体的な場所として、朝霞三中の前の河川敷、黒目川の土手、田島緑地、朝志ヶ丘1-5-1537-7の北中緑地、根岸台4丁目の遊歩道沿いの木々が挙げられています。
- 朝霞市の良い所：大きな公園や木々の並んだ通りが評価されており、現状の管理状況に満足しているという意見が多いです。黒目川と青葉台などの自然豊かな景色も残してほしいとのことです。
- 自然の保護：大規模な緑地の保護や、マンション開発における緑の量を増やす基準の提案が含まれています。具体的には、朝志ヶ丘のはけの山、シンボルロードのケヤキ並木、水の生き物が生息できる環境の充実が挙げられています。
- 学校教育と緑化：小中学校の緑化や、学校教育での緑の大切さを学ぶ時間の増加が提案されています。東京都の小学校の自然園(ビオトープ)の例が挙げられています。
- 公園の整備：公園の木陰の増加、遊具の増設、水遊びができる公園の増加などの意見が述べられています。具体的には、泉水公園、青葉台公園、中道公園、浜崎ドッグランなどが挙げられています。
- イベント：黒目川沿いのウォーキングイベントや川まつりの充実、ベンチの設置などの提案が含まれています。
- 市民参加：市民を巻き込んだ施策や、個々人が育てられるグリーンの推奨などが提案されています。

1) 緑化や緑地保全に関する意見

① みどりの管理

○公園や遊歩道、河川敷の景観や草刈り等の管理を考えてほしい。ボランティアもしたい。(朝霞三中の前の河川敷の辺り、黒目川の土手や田島緑地、朝志ヶ丘1-5-1537-7のあたりにある北中緑地など)

○通学路などの歩道の樹木や雑草の管理をお願いしたい。街路樹の落木、倒木、根が歩道を凹凸にしているため、安全を第一に整備してほしい。(根岸台4丁目の遊歩道沿いの木々など)

② 朝霞の良い所・残したいみどり

○大きな公園と木々の並んだ通りが良い。緑の充実さと歩道の歩きやすさがある道が増えると嬉しい。外出機会の増進や景観の形成につながる。

○朝霞市は緑が多くキレイな街で、子育てができることが嬉しい。現状の管理状況に満足している。美しい朝霞を守り続けていきたい。

○もっと自然で溢れて一人一人が楽しく健康で過ごせるようにしてほしい。今ある自然、黒目川と青葉台などの自然豊かな景色は残して頂きたい。

○小規模なみどりよりも大規模なみどりを残して欲しい。マンション建設で森を伐採しないでほしい。(朝志ヶ丘のはけの山がマンションになってしまったことも悲しい)

○マンション開発において緑の量を増やす基準を設けてはどうか。

○沿線横などの雑木林、昔からある家が持つ竹林や庭木や果樹、無人販売所のある畑、春に埃舞う麦畑がなくなっていくのがさみしい。

○シンボルロードのケヤキ並木は維持管理コストがかかると思われるが、引き続き、存続してほしい。

○水の生き物が生息できる環境を充実させてほしい。

③ 緑化

- 小中学校をさらに緑化するべきだと思う。また学校教育でみどりの大切さを学ぶ時間が増えるとうい。東京都の小学校では自然園があり、子ども達に身近な自然が体験できるようになっている。そのようなものがあると良い。(ビオトープ)
- 農地の維持に力を入れてほしい。
- 市街化調整区域を増やして自然を守ってもらいたい
- 米軍基地跡地の大規模な自然を生かして市民のいこいの場や防災拠点として整備・市民のために活用してほしい。
- 湧水地の保存もしていただきたい。(公園化するなど)
- 朝霞駅東口や朝霞台周辺を緑化し、環境を改善してほしい。(北朝霞駅前の木に鳥が多すぎて怖い。)
- 駅近や本町付近ばかり整備するのではなく、泉水、内間木地域、宮戸、朝霞台なども整備してほしい。
- 東部、南部は充実していると感じるが、その他は自然放置といった印象が強い。(市役所近隣良好)都市計画が悪い。突き当りの道や道中などを見直す必要性を感じる。

④ イベント

- 黒目川沿いを散歩する人も多く、健康促進や子どもが虫や草と触れ合う大切な機会も提供してくれている。川沿いをもっと有効に使えるように、夏の除草の回数UPや川沿いのウォーキングイベント、川まつり等がもっと充実してくれたらうれしい。また、ベンチが欲しい。
- 立川グリーンスプリングスのような緑の使い方もしてほしい。
- 学習の機会を増やしてほしい。(植物の解説プレートをつける)

⑤ 施策

- 公園・河川・道路のみどりの整備、市有地における樹林地、公園、河川敷、道路における緑の管理については、行政の責任として予算や人員を確保し、定期的な保全活動を行ってほしい。(黒目川の河川敷の草刈り、公園の植樹(木陰となる木を植えて欲しい。秋頃に町内の公園掃除を行う)道路の雑草の管理))
- 可能な限り市民を巻き込んだ施策をしてほしい。
- 個々人がバルコニーや室内で育てられるグリーンも推奨してほしい。
- ブロック塀から樹木の塀へもっと推進して欲しい。
- 都市緑地法により、自宅の庭に背の高い樹木を設けるのは不便なので、個人所有地を法律の対象範囲としないほしい。
- 緑を育む事柄では、役所の予算管理を「縦割り」ではなく、河川管理、公園管理、街路樹管理等、「みどり公園課」で考え事柄では広く、各部各課で行う事業に都市計画で言う所の「風致地区」的な制約を盛り込み、朝霞市民誰もが、身近に緑を感じる街づくりを検討して欲しい。
- 「グリーンインフラ」事業は、市役所が行う全ての公共事業に全てに対して取り入れる事が、市民が近く緑を感じ事になると思います。公園をいくら作ってもご近所の方のみが利益を享受する事になり、偏りが出来るのではないのでしょうか？
- 富岡市長の直下に本組織の考え方を取り入れ、市長の指揮監督の基、各部、各課の事業について「グリーンインフラ」の取り入れる事もご検討して頂きたい。

2) 公園に関する意見

① 公園の整備

- 泉水公園の歩道整備：泉水公園への歩道が狭く、車の通りも激しいため、子どもや大人が危険。車椅子でも通れる幅の歩道整備が急務です。
- 子どもがのびのび遊べる広い公園を増やしてほしい。具体的には、サッカー、野球、アスレチック、スケボー、自転車などの遊び場が求められている。カラス対策を行い、安全に遊べるようにしてほしい。
- 内間木や朝志ヶ丘での緑化や公園の整備を進めてほしい。
- 公園にカフェを設置してほしい。
- 公園の駐車場を拡大してほしい。駐車スペースが不足しているため、公園を利用したくても車を停めることができない。
- 公園を災害時に利用できるように整備し、緑を充実させるべき。
- 子ども達のために遊具を優先して設置してほしい。遊具の点検・安全性を優先してほしい。
- ある程度の広さがある公園にはトイレを設置してほしい。トイレがないと近隣の人しか利用できず、寛げない。
- 公園に木陰を増やしてほしい。昨今の猛暑では木陰、日除けが必須。みどりのカーテンやみどりの天井・サンシェードも合わせて整備してほしい。
- 花壇や雑草の管理をしてほしい。
- 公園に遊具を増やしてほしい。古い遊具の点検もお願いしたい。(青葉台公園や中道公園)
- 公園のアスレチック的な遊具が、高齢者向けの健康器具や何もない原っぱに変わっている。緑の迷路のような緑と遊具が一緒になったものが欲しい。
- ボール遊び等、子どもが自由にのびのびと遊べる公園や場所を増やしてほしい。
- 夏の暑さが年々厳しくなり、水遊びができる公園が増えると嬉しい。
- 広いドッグランがほしい。(浜崎ドッグランの改善)
- 安全性を重視してほしい。樹木により見通しの悪い公園は良くない。古い木(まぼりひがし公園の真ん中の大きな木など)も倒れないか心配。(防犯カメラも付けてほしい。)
- 公園の水道、トイレやベンチの整備をしてほしい。
- 公園の駐車場を整備してほしい。
- 公園内に動物の保護施設を作してほしい。
- 車椅子に優しい公園が増えると良い。
- 高齢者が行きたくなる公園がほしい。子どもが育った世代(中高年)が個人で楽しめる森のカフェなどシンボルロードにあったらよい。
- 朝霞中央公園の石畳を駐車場にしないでください。
- 朝志ヶ丘に公園がほしい。
- 市のHPを拝見すると、都市公園一覧表はあるが、都市公園一覧地図がない。個別の地図ではなく、地図を一覧することで、どの地域に公園を整備する必要があるかをお考え頂きたい。例えば、どこに住んでいる人でも徒歩10分以内の所に公園を整備するという様な目標を作してほしい。空き地が出たら、市として購入し、整備してほしい。子どものためというよりは、年寄りのために近くに公園等の集まる場所があると良いと思う。
- 私の居住地域には、子どもが遊べる公園や年輩者が散策できるような公園が近くにない。三原通りを電柱の地中化、街路樹の整備など緑を豊かにしてほしい。
- 宮戸の公園が早くできてほしい。

- 南口の方と比べて東口の方は整備された公園が少ない。
- 公園の管理などについて
- 朝霞の大きな公園が良い。
- 城山公園の立ち入り禁止になっている山の中の木を整備して前のように中を歩けるようにして下さい。
- 朝霞の森で、芝で寝転がって遊べる場所がもっとあればよい。
- 青葉台公園の木陰や親水広場もとても良い(緑と水が)場所だと思う。
- 浜崎団地のスペースを半公共スペースとして活用する方法があればよい。(地元のおまつり、消防団、青年部、子供会などが有機的につながれると良い)
- 旧ハローワークを公園にしてほしい。三原1丁目には、大きな公園がない。
- 公園内での喫煙を禁止してほしい。
- 週末に公園で朝霞市で作った農作物が購入できる「マルシェ」の開催はどうか。
- 北朝霞公園と北割公園のベンチ付近にタバコの吸い殻が多く、子どもが拾ってしまうことが心配。
- あけぼの公園が特定の利用者が占有して利用しにくい。

3) その他の意見

① 今回のアンケートについて

- 朝霞市の知名度を上げたい。
- このようなアンケートが初めてだったので、とてもよい調査だと思った。
- 住みやすい地だと感謝しています。頑張ってください。
- こらからの朝霞市のみどりのまちづくりを維持、発展できるよう私たち市民も協力しながら取り組めたらと考えている。
- 地元の説明会等ではどうしても高齢者の意見が多くなりがちだと思うのでこういったアンケートで、子育て世帯の意見が集められればいいと思う。

② 道路に関する要望

- 市内各所にベンチやカフェがあると良い。
- ポイ捨て禁止、歩きたばこ禁止などのポスターをもっと増やしてほしい。
- サイクリングロードやウォーキングロードの設置や整備をしてほしい。(車と人が安全に)
- 「みどり」保護と合わせて、道路や歩道、街灯の整備を希望したい。(根岸台エリアや小学生の通学路になっている道路など)
- 溝沼や泉水、膝折も緑が多くあり素敵ですが、反対に道が狭いために歩行者と車や自転車とすれ違いが難しい。
- 道路のアスファルトを保水性のものにして行く等、水害対策を進めてほしい。

③ 駆除対策について

- 野良猫やハクビシン、ネズミ、カラスなどの対策が必要です。特に、ハクビシンが家屋に侵入した際の対応が必要です。
- 害虫やハチ、蚊の駆除を定期的にお願ひしたい。広沢公園では夏場に蚊が多く、特に今年は猛暑の影響で9月に蚊が多く発生した。蚊が媒介する病気もあるため、子どもを遊ばせるのが心配とのことである。公園の下に水処理の設備があるため、そこが発生源と推察されている。
- 害獣(ネズミ)駆除をお願いしたい。
- スズメバチ対策やムクドリ対策をしてほしい。

④ イベントについて

- イベントやお祭りをもっと広報してほしい。土日のお休みの時に家族そろって参加できるイベントがあれば今後ぜひ参加したい。
- シンボルロードでイベントをやりすぎ。イルミネーションは、CO2排出量を増やすイベントではないか。
- 駅付近だけでなく、フリーマーケットやキッチンカーなどを様々な所で開催してほしい。
- 黒目川沿いのライトアップを通年でやってほしい
- 市役所近くのイベントが多く、高齢者に近づく程、参加できない、利用できないことが多い。

⑤ みどりに関する活動について

- 地域の住人が参加できる活動を増やしてほしい。
- 一人でも赤ちゃん連れでも参加しやすい活動が増えれば心のケアにもつながりそうな気がする。
- 朝霞市は人が多すぎるので、地方の里山を借りて憩いの里を作るのも良いかも。

⑥ 情報発信について

- 朝霞市の生き物や公園、農地などの情報を集約して発信してほしい。(ホームページに市内の公園を紹介する地図を載せてほしい。)
- SNS(メンバーを若者中心にやってもらう)等を使い、緑の環境が整えられていく様子や手入れをしている人の様子交流等を伝えていく。また、季節の植物や身近な自然の生き物(鳥、魚、昆虫)等の変化も伝えたり、公民館、児童館等に写真や活動内容を絵(マンガ)等で掲示していく。

⑦ 市の施策について

- 市民協働、官民連携による取り組みが不可欠。
- 朝霞駅周辺のウォーカブル施策と連動したまちづくりGXの取組みとして、包括的な指針となる計画策定に着手していただきたい。
- 米軍基地跡に商業施設(緑が多い)がほしい。
- まちをきれいに保つ取り組みが不足している。事業者や住宅が庭を美しく保ち、散歩が楽しくなるような補助金やウォーキングのポイントをつける等の仕組みを作ったらどうか。朝霞市は市役所近くだけが、環境良く、それ以外はあまりきれいなまちではないと感じている。
- 「みどりのまちづくり」の「みどり」ばかりを考えて、「まちづくり」が抜けている気がします
- 防災のため、朝霞の森と青葉台公園の間の道路のセンターラインにある花壇を除去してほしい。故障車が駐車していると、緊急車両が花壇のため追い越しができず、防災時の妨げになるためです。
- 私は根岸台斜面林の水路側に住んでいます。昭和50年に引っ越してきた当時は風通しが良かったが、その後自然公園になり、樹木が茂り日当たりも風通しも悪くなりました。定期的に行われていた草刈りも業者が入らなくなりました。自然公園になる前から暮らしていた住人の暮らしやすさが損なわれていると感じています。緑の公園は必要ですが、不便を感じている住民もいることを理解してほしいです。
- 総合病院を建設するようにする方が第一である。